

講演

土木學會誌 第五卷第四號 大正八年八月

道路法ニ就テ

法學士佐上信一

(本論ハ嘗テ土木學會講演會ノ席上ニ於ケル講演ヲ訂正修補シタルモノナリ)

目次

一	道路法制定ノ必要	三
二	道路法制定ノ沿革	四
三	道路法ノ概要	五
	第一章 總則	五
一	本法ノ適用ヲ受クヘキ道路及道路ニ準スヘキモノ	五
二	道路ト道路ヲ構成スル敷地其他ノ物件ニ存スル私權トノ關係	五
三	將來新ニ道路沿道又ハ道路ノ附屬物トナルヘキモノニハ本法ノ規定ヲ準用ス	五
	第二章 道路ノ種類等級及路線ノ認定	七
一	道路ノ種類及等級	七
二	道路ノ路線ノ認定機關	七
三	道路ノ路線ノ資格標準	七
四	區域外道路ノ路線ノ認定	七
五	重複道路ノ取扱	七
	第三章 道路ノ管理	〇
一	道路管理ノ意義	一
二	道路管理ノ機關及組織	一

講演 道路法ニ就テ

講演 道路法ニ就テ

一	道路管理者ノ職務權限	一五
二	道路ノ構造維持修繕及工事執行ノ方法	二七
三	道路管理吏員ノ設置	二七
四	第四章 道路ニ關スル費用及義務	二八
一	道路ニ關スル費用ノ負擔方法	二九
二	附帶工事ノ費用負擔方法	三四
三	義務履行ノ費用負擔方法	三六
四	負擔金ノ收納方法	三六
五	道路ヨリ生スル收益ノ歸屬	三七
六	沿道土地ノ甘受スヘキ義務	三八
七	非常災害ノ爲必要アル場合ニ甘受スヘキ義務	三八
八	道路警察ニ關スル規定	四〇
一	第五章 監督及罰則	四一
一	道路保全ノ爲ニスル非常管理	四二
二	道路管理者ニ對スル監督	四三
三	行政上ニ於ケル強制執行	四四
四	罰則	四四
一	第六章 訴願及訴訟	四六
一	行政訴願	四六
二	行政訴訟	四七
三	通常裁判	四七
一	第七章 雜則	四八
一	北海道沖繩縣及島ニ關シ本法施行上ノ注意	四八
二	北海道及沖繩縣ニ關スル特別制度	四八
三	廢道其ノ他ニ因ル不用物件ノ管理及處分ノ方法	四九
四	本法ニ依リ變更セララルル法令	四九
附則		五一
一	本法施行ノ期日	五一

- 二 本法ニ依リ廢止セララル法令 五一
- 三 本法施行前ノ處分及之ニ付シタル條件ノ效力 五二
- 四 本法施行前ヨリ存スル許可事項又ハ承認事項ノ效力 五二
- 五 本法施行前ノ訴願及訴訟ノ效力 五二
- 四 道路法ト他ノ法令トノ關係
 - 一 道路法ト相容スヘキ法令 五三
 - 二 道路法ニ依リ廢止セララル法令 五四
 - 三 道路法ニ依リ變更セララル法令 五四
 - 四 道路法ノ特別法トシテ仍其ノ效力ヲ存續スヘキ法令 五四
 - 五 道路法施行後ニ於ケル道路改良ノ計畫 五四
 - 六 道路法施行ニ伴フ事務
 - 一 道路法施行ニ伴フ内務省ノ事務 五七
 - 二 道路法施行ニ伴フ府縣廳ノ事務 六〇

一 道路法制定ノ必要

道路ハ交通上緊要ノ機關ニシテ之カ改良整備ハ軍事産業及各般ノ行政上一日モ忽緒ニ附スヘカラサル時務ノ一ニ屬ス然ルニ我國道路ノ現狀ヲ觀ルニ全國交通ノ幹線タル國道ニシテ尙且渡船又ハ賃取橋ニ依リテ僅ニ交通ヲ聯絡シ其ノ他ノ路線ニ在リテモ路幅勾配等不十分ニシテ人馬諸車ノ交通ニ適セサルモノ少シトセス是レ蓋シ封建ノ諸侯カ故ラニ交通ノ便ヲ避ケ割據ノ風ヲ成シタル餘勢ヲ承ケタルモノナルト共ニ鐵道ノ開通ニ伴ヒ一時道路ノ必要ヲ閑却シタルニ因ルヘシト雖モ道路ニ關スル制度ノ整備セサルコトモ亦其ノ原因ノ一タラスシハアラス現行ノ道路法規ハ僅ニ道路ノ種類及等級ニ關スル明治九年大政官達及土木費負擔所屬區分ニ關スル明治十一年大政官達ノ存スルニ止マリ而モ其ノ規定タルヤ頗ル簡單ニ失シ極メテ明瞭ヲ缺キ僅カニ取扱上ノ慣例ニ依リ之ヲ彌縫スルニ過キス殊ニ道路ノ管理維持ニ關シテハ各種ノ關係判明ヲ缺クヲ

以テ往々ニシテ紛議ヲ醸生シ事業ノ進捗ヲ阻碍スルコト大ナルノミナラス監督ニ關スル規定ノ如キモ亦極メテ不備ニシテ道路ノ整理改良上ノ一大障礙タリトス而シテ近時ノ趨勢ニ顧レハ道路ヲ利用スル動力ニ依ル運輸機關ノ發達ニ伴ヒ交通上ニ於ケル道路ノ價值ハ愈々顯著ナルニ至リ其ノ改良發達ノ必要ヲ感知スルコト益々切ナラサルヲ得ス茲ニ於テカ速ニ統一的道路法規ヲ制定シテ時勢ノ急需ニ應スルハ爲政者ノ正ニ力ヲ致ササル可カラサル所ナリトス

二 道路法制定ノ沿革

道路法ノ制定ハ三十年來ノ懸案ニシテ明治二十一年十一月之カ調査ヲ了シ公共道路條例ト名ケテ街路新設條例ト共ニ閣議ニ提出セルモ決定ニ至ラズシテ止ム更ニ明治二十三年十二月右兩案ヲ合併シテ道路法案ヲ起草シ第一回帝國議會ニ提出ノ目的ヲ以テ閣議ニ上シタルモ議會ニ提出ノ運ニ至ラザリキ明治二十六年六月ニ至リ道路法案ニ關シ地方長官ノ意見ヲ徵シ同二十八年三月土木會及土木監督署長ニ諮詢シテ是等ヨリ得タル意見ヲ參酌シ前案ニ多少ノ修正ヲ加ヘテ公共道路法案ヲ立案シ閣議ヲ經テ明治二十九年十二月第十回帝國議會ニ提出シ衆議院ノ議ニ上レリ而シテ衆議院ニ於テハ特別委員會ヲ設ケテ數回ノ審議ヲ重ネタルニ可否ノ意見相半シ僅ニ委員長ノ贊成ニ依リテ委員會ヲ通過シ議會ノ最終日ニ至リ之ヲ議場ニ報告セシモ同法案中命令ヲ以テ規定スヘキ條文多キヲ誹難セル少數意見ニ對シ贊意ヲ表スル者多クシテ遂ニ否決ノ運命ニ陷レリ

爾來政府ニ於テハ之カ調査ヲ續行シ道路法案ヲ立案シテ明治三十二年八月閣議ヲ經テ第十四回帝國議會ニ提出シ貴族院ノ議ニ上レリ而シテ貴族院ニ於テモ亦特別委員會ヲ設ケテ再三審議ヲ重ネタルモ委員會ハ國道ノ費用支辨ニ關シ當時ノ政府當局ト所見ヲ異ニセルカ爲之カ審査ヲ修了スルニ至ラザリキ明治三十五年十一月ニ至リ之ヲ土木會ニ諮詢ノ上更ニ些少ノ修正ヲ加ヘテ

成案ヲ得タルモ第十七回及第十八回帝國議會ハ共ニ解散セラレタルカ爲提出ノ運ニ至ラス明治四十三年更ニ之ヲ改案シテ道路協議會ニ諮詢シ翌四十四年之ニ基キテ多少ノ修正ヲ加ヘ地方長官ニ回付シテ其ノ意見ヲ徵シ其ノ後大正四年以來明治四十四年ノ成案ヲ基礎トシテ再ヒ調査ヲ續行シ大正六年十二月成案ヲ得テ第四十回帝國議會ニ提案ノ見込ヲ以テ閣議ニ提出セシカ道路ノ占用ニ關シ遞信者ト協議進行中會期切迫ノ爲閣議ヲ經ルニ至ラスシテ提出ヲ見合ハスコトニ決定セラレタレハ大正七年十一月更ニ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘ閣議ヲ經テ第四十一回帝國議會ニ提出シ遂ニ其ノ成立ヲ見ルニ至リ本年四月法律第五十八號ヲ以テ裁可公布セララル願ハ道路法ハ明治二十一年第一回ノ法案タル公共道路條例ヲ起草シテ以來實ニ三十有二星霜ヲ經テ初メテ茲ニ其ノ制定ヲ見ルニ至リタルナリ

三 道路法ノ概要

第一章 總則

本章ニ於テハ本法適用ノ範圍ヲ明瞭ニシ(第一條)道路ノ附屬物ノ取扱方ヲ明示シ(第二條)本法ニ使
用セル橋梁渡船場他ノ工作物又ハ道路ニ關スル工事等ノ用語ノ意義ヲ明確ニシ(第三條)更ニ
道路ヲ構成スル物件ニ存スル私權行使ノ範圍ヲ限定シ(第六條)又命令ヲ以テ將來道路沿道又ハ道
路ノ附屬物トナルヘキモノニ本法ノ規定ヲ準用スヘキコトヲ規定セリ(第七條)

一 本法ノ適用ヲ受クヘキ道路及道路ニ準スヘキモノ(第一條及第二條)

道路ハ一般公衆ノ用ニ供セラルル行政上ノ設備ニシテ學者之ヲ營造物ノ觀念ヲ以テ説明セリ

本法ニ於テ道路ト稱スルハ一般交通ノ用ニ供スル道路ナルコト及行政廳ニ於テ第二章ニ依リ
其ノ路線ヲ認定シタルモノナルコトノ二個ノ要件ヲ具有スルコトヲ要ス其ノ要件ノ一ヲ缺ク

トキハ本法ノ適用ヲ受クヘキ道路ト稱スルコトヲ得ス只行政廳ハ苟クモ一般交通ノ用ニ供スル道路ナルトキハ其ノ路線ヲ認定シテ之ヲ本法ノ適用ヲ受クヘキ道路ト爲シ其ノ管理ヲ爲スヲ方針トセサルヘカラス道路ノ效用ヲ完カラシメ道路ノ效用ヲ増進シ若クハ道路ノ構造ヲ維持シ又ハ道路ノ交通ヲ安全ナラシムル必要ナル施設ハ之ヲ道路ノ附屬物トシ道路ニ準シテ本法ノ規定ヲ適用スルコトトセリ第二條各號ニ列記スルモノト雖モ本法ノ規定ニ從ヒ難キモノ又ハ之ヲ道路ノ附屬物ト爲スコトヲ適當トセサルモノハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトトセリ

二道路ト道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニ存スル私權トノ關係(第六條)

道路ナル營造物ノ管理權ト之ヲ構成スル物件ニ存スル私權トハ固ヨリ別個ノ存在ヲ爲スヲ妨ケサルハ近世ニ於ケル營造物ノ觀念ヨリ生スル當然ノ歸結ナリ故ニ本法ニ於テハ道路ナル營造物ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ハ必スシモ營造物タル道路設備ノ主體ノ所屬タルコトヲ必要トセスシテ只營造物ノ效用ヲ全ウスルカ爲其ノ範圍内ニ於テ私權ノ行使ヲ停止スレハ足ル此點ニ於テ本法ハ我國ノ河川法及佛國ノ道路法ト其ノ立法ノ主義ヲ異ニセリ而シテ私權ノ行使ヲ停止スルノ目的ハ營造物ノ效用ヲ全ウスルニアルヲ以テ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定若ハ移轉ノ如ク營造物ノ效用ニ妨ケナキモノハ之ヲ停止スルコトナシ是レ本條ニ但書ヲ設ケタル所以ナリ

三將來新ニ道路沿道又ハ道路ノ附屬物トナルヘキモノニハ本法ノ規定ヲ準用ス(第七條)

本法ノ道路沿道又ハ道路ノ附屬物ニ關スル規定ハ何レモ現在道路沿道又ハ道路附屬物タルモノニ關スル規定ナルモ新ニ道路沿道又ハ道路ノ附屬物ト爲ルヘキモノニ關シテモ之ニ準シ相當取締ヲ爲スノ必要アルヲ以テ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ準用スルコトヲ得シメタリ

第二章 道路ノ種類等級及路線ノ認定

本章ニ於テハ道路ノ種類等級及路線ノ認定ニ關スル規定ヲ設ク道路ハ國道府縣道郡道市道及町村道ノ五種類トシ(第八條)其ノ等級ハ第八條記載ノ順序ニ依ル(第九條)而シテ道路及路線ノ認定機關ハ國道ニ付テハ内務大臣府縣道ニ付テハ府縣知事郡道ニ付テハ郡長市道ニ付テハ市長町村道ニ付テハ町村長トシ(第十條)尙必要ト認ムル場合ハ市町村道ノ路線ニ限リ市町村長ハ其ノ管轄區域外ニ亙リ之ヲ認定スルコトヲ得(第十五條)街道路ノ路線ノ重複スル場合ニ於テハ道路ノ取扱ニ付テハ認定及其ノ管理ニ關シ疑義ヲ生スルヲ以テ特ニ之カ爲規定ヲ設ケタリ(第十六條)

一 道路ノ種類及等級(第八條及第九條) 既述ノ各カ如ク道路ノ種類及等級ニ關スル現行ノ法規ハ明治九年大政官達第六〇號ノノミニシテ獨リ行政組織ノ複雜ナル現今ノ情勢ニ適合セザルニミナラス規定頗ル簡單ニシテ明瞭ヲ缺キ僅ニ取扱上ノ慣例ニ依リ之ヲ彌縫スルニ過キサナルノミナラス道路ノ種類及等級ハ必スシモ費用負擔所屬ノ區分ト密接ノ關係ヲ有セザルヲ以テ行政上ノ統一進歩ヲ阻礙シ且道路改良發達ヲ妨害スルニト極メテ大ナルカ故ニ本法ニ於テハ道路ノ種類ハ國道府縣道郡道市道及町村道ノ五種類トシ所謂私設公道ノ制度ヲ認メス而シテ之ヲ現行法ノ三種類ナルニ比スレハ里道ヲ郡道市道及町村道ニ細分シタルコトニ於テ道路ノ種類ヲ增加セシ蓋シ道路ノ種類及費用負擔團體ニ對應シテ細分スルハ其ノ費用負擔ノ所屬區分ヲ明瞭ナラシムル點ニ於テ利益少クシトセザルナリ道路ノ上級下級ヲ決定スル其ノ路線ヲ重用スル場合ニ於テ道路ノ管理及費用ノ負擔關係ヲ明瞭ナラシムルノ必要ニ出ズ本法ニ於テハ道路ノ等級ハ國道府縣道郡道市道町村道ノ順序ニ依ルコトトシ第九條ニ其ノ規定ヲ設ケタリ

二道路ノ路線ノ認定機關(第十條乃至第十四條)

道路ノ路線ノ認定官廳ニ關シテハ從來ノ規定明瞭ヲ缺ケルヲ以テ本法ニ於テハ之ヲ明瞭ナラシメ各道路ノ種類ニ依リテ認定官廳ヲ區別セリ即チ國道ニ付テハ内務大臣府縣道ニ付テハ府縣知事郡道ニ付テハ郡長市道ニ付テハ市長町村道ニ付テハ町村長ハ何レモ國ノ機關トシテ各道路ノ路線ヲ認定スルコトトセリ而シテ道路ノ路線ノ認定ハ將來ニ於テ其ノ新設改築維持及修繕ニ要スル費用ノ負擔ニ付國又ハ公共團體ノ財政ニ影響スル所少ナカラサルニ係ラス國ノ機關タル是等ノ行政廳カ單獨ニ道路ノ路線ノ認定ヲ爲スハ運用上反ツテ穩當ヲ缺クノ嫌アルヲ以テ本法施行ノ後ニ於テハ總テ國道ノ路線ノ認定ニ付テハ道路會議ニ之ヲ諮詢シ府縣道以下ノ道路ノ路線ノ認定ニ付テハ其ノ費用ヲ負擔スヘキ關係公共團體ノ議會ニ之ヲ諮問スルコトトシ施行令中ニ之ヲ規定セントス而シテ市町村組合長ハ本法ノ適用ニ付テハ市長ト同シク市町村組合内ニ道路ノ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得ルハ當然ニシテ市町村組合ニ關シテハ市制中ニ之ヲ規定セルヲ以テ本法ニ於テハ別ニ此點ニ付規定ヲ設ケス町村組合ニ付亦同シ

三道路ノ路線ノ資格標準(第十四條乃至第十五條)

現在ニ於ケル道路ノ資格標準ハ現今ノ情勢ニ適合セサルカ爲不便少カラサルヲ以テ時勢ノ要求ニ鑑ミ相當道路ノ種類及道路ノ路線ノ資格標準ヲ擴張スルノ必要アリ依リテ國道トナスヘキ路線ノ資格中ニハ現ニ國道タルモノノ外主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル路線ヲ加ヘ府縣道ノ路線ニ付テハ從來其ノ資格標準實際ノ必要ニ應スルニ足ラサリシカ爲道路ノ資格ト費用ノ負擔所屬區分ト相適合セサル府縣費支辨里道ノ制ヲ生シ其ノ利弊相半スルノ状態ナリシヲ以テ是等ノ事情ヲ斟酌シ現在ノ假定縣道及府縣費支辨里道ノ資格標準ヲ案配シテ相當其ノ範圍ヲ擴張シ地方實際ノ必要ニ應スル適當ナル規定ヲ設ケタリ更ニ郡道ノ路線ニ付テハ郡費支辨里

道ハ府縣費支辨里道ト同シク從來公認ノ制度ニ非サリシモ實際ノ必要ハ制度ノ創設ニ先チ各地方ニ幾多ノ郡費支辨里道ヲ生スルニ至レルヲ以テ本法ニ於テハ之ヲ公認スルコトトセリ而シテ從來各地方必スシモ郡費支辨里道ヲ認メタリト云フニアラサルヲ以テ之ヲ全國一般ニ及ホスヘキヤ否ヤハ大ニ考慮セサルヘカラスト雖モ郡道トシテ經營セントスル道路ニ付テハ相當ノ資格標準ヲ設クルノ必要アリタルヲ以テ府縣道ニ準シテ郡道路線ノ資格標準ヲ設ケタリ其ノ他ニ於テハ既ニ述ヘタルカ如ク從來ノ里道ヲ市道ト町村道トニ分チタリ而シテ本法ニ於テハ別ニ市道及町村道タルヘキモノノ資格標準ヲ限定スルコトナク一般交通ノ用ニ供セララル道路ナル以上ハ總テ之ヲ市道又ハ町村道ニ認定シ得ヘキコトトセリ蓋シ市及町村ハ我國最下級ノ行政區劃ニシテ市道及町村道ハ最下級ノ道路ナルヲ以テ國道府縣道又ハ郡道ノ路線ノ如ク之ヲ一般道路中ヨリ採擇シテ上級道路トスル場合ノ如ク一定ノ資格標準ヲ示スノ必要ナク市町村内ノ道路ヨリ國道府縣道又ハ郡道タルモノヲ除ク以外ノ道路ハ總テ之ヲ市道又ハ町村道ト爲スヲ以テ足レリト認メタレハナリ而シテ道路ノ路線ノ認定ヲ爲スニ方リテハ單ニ本法ノ要求スル形式的ノ資格標準ヲ具備スルヲ以テ足レリトセス能ク隣接行政區劃トノ協調ヲ保チ大局ヨリ達觀シタル管轄内ノ道路網ヲ組成シ之ヲ基礎トシテ各道路ノ路線ヲ決定スヘキハ勿論其ノ道路網ノ組成ヲ爲スニ當リテモ最モ慎重ナル調査ヲ遂ケ重キヲ交通經濟ニ關スル各種ノ資料ニ置キ取捨必ス適切確實ナル基礎ニ準據スルヲ要スヘキナリ

四 區域外道路ノ路線ノ認定(第十五條)

區域外道路ノ路線ノ認定ニ關シテハ市町村カ其ノ區域外ニ公園火葬場又ハ停車場等ヲ有スル場合ニ於テハ從來屢々其ノ必要アリシニ關ラズ他ノ行政區劃ニ道路ノ路線ヲ認定シ道路ヲ管理スルハ法規ニ何等ノ根據ナキヲ以テ行政上之ヲ公認スルコト能ハサリシナリ故ニ本法ニ於

ハテ實際ノ必要ニ應スルカ爲其ノ適用ノ最モ頻繁ナルヘキ市町村道ニ限リ區域外ニ亘リテ其ノ路線ヲ認定スルコトヲ得シメタリ即チ市町村長ハ市町村ノ爲特ニ必要アル場合ニ限リ地元市町村長ノ意見ヲ聞キ市町村外ニ亘リ市町村道ノ路線ヲ認定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ地元市町村長ニ於テ當該路線ノ認定ニ反對ノ意見ヲ表示スルコトアルモ監督官廳ハ其ノ認可ニ際シ實際ノ情況ヲ精査シ道路ヲ新設スル必要アリト認め且地元市町村長ノ反對意見ニ理由ナシト認ムルトキハ地元市町村長ノ反對意見アルノミヲ以テ其ノ認可ヲ拒ムコト能ハサルナリ區域外ニ亘リ道路ノ路線ヲ認定スルノ制度ハ我道路法ノ特色ニシテ他ニ多ク其ノ立法例ヲ見ス

五 重複道路ノ取扱(第十六條)

上級道路ト下級道路ト相重複スルトキハ其ノ管理及費用負擔ノ關係ニ混雜ヲ來スカ故ニ此ノ關係ヲ明瞭ナラシムルカ爲道路ノ重複ヲ回避スルハ道路行政上極メテ緊要ノ事項タリ故ニ本法ニ於テハ路線ト道路トヲ分チ路線ノ重複ヲ認ムルモ道路ノ重複ヲ認メス路線ノ重複スル部分ニ於ケル道路ハ之ヲ上級道路トシテ其ノ管理及費用負擔ノ關係ヲ處理スルコトトセリ而シテ同級道路ノ路線相重複スル場合因ヨリ少カラスト雖モ此ノ場合ニ於ケル管理及費用負擔ノ關係ハ總テノ道路カ同一管理者ノ管理ニ屬スルヲ以テ別ニ混雜ヲ生スルコトナキモ各種道路事務ノ處理上ニ於テハ其ノ道路ハ何レノ路線ニ屬スルモノナルヤヲ決定スルノ必要アリ本法ニ於テハ之ニ關シ何等ノ規定ヲ設ケスト雖モ同級道路ノ路線重複スル場合ニ在リテハ特ニ變更ヲ行ハサル限リ最初認定セラレタル路線ニ屬スル道路ヲ其ノ基本ト爲スヘク後ニ認定セラレタル路線ニシテ最初ニ認定セラレタル路線ト重複スル部分ニ屬スル道路ハ此ノ基本道路ニ屬スヘキナリ

第三章 道路ノ管理

本章ニ於テハ道路ノ築造及其ノ築造後ノ管理ニ關シテ規定ヲ設ケテ以テ道路ノ管理機關ハ國ノ行政廳及府縣知事郡市長及町村長ヲ以テ之ニ充テ(第十七條)道路ノ新設改築維持及修繕ハ管理者之ヲ執行スルヲ原則トシ(第三十條)特別ノ必要ニ依リ又ハ特別ノ事由アリ場合ニ於テ(第二十二條乃至二十五條)他ノ行政廳公共團體又ハ私人ヲシテ道路關スル工事ヲ執行シ又ハ其ノ維持ヲ爲サシム而シテ橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スルコトヲ得ヘキ橋梁又ハ渡船場ノ制度ニ關シテ本法ニ於テモ尙之ヲ存置スルヲ必要ナルカ爲獨リ國公共團體又ハ私人ノミナラス(第三十六條)道路管理者ニ對シテモ之ヲ設クルコトヲ得シ(第二十七條)又道路之占用ニ付テハ特ニ之ニ關スル規定ヲ設テ管理者ハ交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ道路ノ占用ヲ許可又ハ承認スルコトトシ其ノ占用ニ對シテハ占用料ノ徵收ヲ認メ得ル而シテ國ノ事業ニ關シテハ當該官廳主務大臣ト協議シテ道路ノ占用料爲(第三十條)得シ之ニ對シテハ占用料ヲ徵收セス(第三十八條)尙公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ニ限リ管理者正當ノ事由アリテ道路ノ占用ヲ拒ミ又ハ占用料ヲ不相當ニ定メタル場合ニ於テハ事業業者ノ申請ニ依リ主務大臣之ヲ決定スルコトトセリ(第二十九條)

一 道路管理ノ意義

本法ニ規定スル道路ノ管理ナル用語ハ其ノ意義極メテ廣汎ニシテ獨リ既ニ道路トシテ完成セタル設備ヲ保存スル行爲ヲ云フ又ミナラズ其ノ設備ヲ新設改築スル行爲ヲモ包含ス而シテ管理者ハ自己ニ於テ道路工事ヲ執行スルノミナラズ他ノ者ニ其ノ執行ヲ命シ得ヘク道路設備保存ノ爲自己ニ於テ之ヲ維持修繕ヲ爲スノミナラズ他ノ者ニ之ヲ命スルコトヲ得シ又管理者タ

ル行政廳ノ統轄スル公共團體ニ於テ道路ニ關スル費用ヲ負擔スルノミナラス他ノ者ニ道路ニ關スル費用ノ負擔ヲ命スルコトヲ得ヘク又非常災害ノ場合ニ於テハ道路附近ノ居住者ヲ使役スルコトヲ得ヘク又道路使用及保全ニ關シ必要ナル措置ヲ執ルコトヲ得ルヲ以テ本法ノ規定スル道路ノ管理ナル用語ノ意義ハ他ノ法令ニ於ケル管理ノ意義ニ比シ極メテ廣義ニ之ヲ解釋セサルヘカラス

二 道路管理ノ機關及組織

道路管理ノ機關ヲ國ノ行政廳ト爲スヘキカ公共團體ト爲スヘキカ而シテ道路管理ノ組織ヲ中央集權的タラシムヘキカ地方分權的タラシムヘキカハ各々其ノ利害得失一ナラスシテ英米ニ於テハ公共團體主義ヲ採リ獨佛ニ於テハ行政廳主義ヲ採ル等各國ノ立法例亦必スシモ其ノ軌ヲ一ニセスト雖モ道路ハ一般交通ノ用ニ供スル設備ニシテ幹線ナルト枝線ナルトヲ問ハス互ニ脈絡相貫通シテ全國ヲ一貫シテ其ノ用ヲ爲スヘキモノナルノミナラス國民ハ何人ト雖モ之カ使用ヲ妨ケラルヘキニアラス町村ノ營造物ノ如ク法律上主トシテ其ノ區域内ノ住民ノ利用ニ供セラレ其ノ使用ニ付他ノ町村住民ヲ排斥シ若ハ之ヲ制限スルコトハ道路ノ本質ニ反スルモノナルヲ以テ之ヲ國ノ營造物トシ國ノ行政廳ヲ其ノ管理者ト爲スコトハ實ニ道路ノ本質ニ合スルモノト云フヘシ而シテ現行法制ノ解釋及從來ノ取扱例モ亦道路ノ管理廳ハ凡テ國ノ行政廳トシ關係公共團體ハ其ノ道路ニ依リ主トシテ直接ニ利益ヲ享有スルノ故ヲ以テ單ニ其ノ費用ノ分擔ニ任セシムルコトトシ來レルノミナラス大正二年ニ於ケル第三回萬國道路會議ニ於テモ參列各國ノ代表委員ノ大多數ハ道路ノ管理廳ハ之ヲ國ノ行政廳ト爲スニ付大體其ノ意見一致シタルモ英國カ從來ノ沿革上ヨリ其ノ除外例ヲ要求シタル結果各國ニ於ケル道路行政ノ組織ハ各國各特有ノ沿革ニ依リ其ノ國ニ行ハルル一般的政治組織ト相調和スルヲ要スルヲ

以テ或國ノ道路行政ノ組織カ中央ニ集權セラルヘキヤ又地方ニ分權セラルヘキヤノ問題ニ關シテハ各國ヲ通シテ行ハルル原則ヲ定メ難キモ道路行政應ハ行政技術並ニ經理ノ方面ニ巨ル必要ニ依リ管轄區域ヲ擴大スヘキモノタルコトヲ議決シ歐米諸國ノ立法カ漸次道路ノ管理廳ヲ國ノ行政廳トスルノ主義ニ傾カントスルヲ示セルカ故ニ本法ニ於テハ我國從來ノ沿革上ヨリ又道路ノ本質上ヨリ國ノ行政廳ヲ以テ道路管理廳ト爲スルノ主義ヲ變更スルノ必要ヲ認メサルヲ以テ其ノ儘之ヲ踏襲スルコトヲモテ第一管轄區域ノ範圍ニ關シテ是ノ如ク定メテ置ル

1 道路ノ管理者ハ其ノ路線ノ認定者タル行政廳ヲ以テ之ニ充ツルルコトヲ原則トスル(第十七條) 認定者ノ何人ナルヤハ第十條以下ニ之ヲ規定セリ即チ府縣道ハ府縣知事郡道ハ郡長市道ハ市長町村道ハ町村長ヲ以テ其ノ管理者ト爲シ市町村組合及町村組合内ノ道路ハ其ノ認定者タル組合長ヲ以テ其ノ管理者ト爲ス蓋シ道路ノ路線ノ認定ハ道路ヲ設備スル第一着手ナルカ故ニ道路路線ノ認定者ト其ノ管理者ト方同一機關タルヲ原則トスヘキハ固ヨリ論テモ所ナルヘシ

2 道路ノ管理者ハ其ノ路線ノ認定者ヲ以テ之ニ充ツルル原則ニハ例外少ナシトモ之ヲ列記スルハ左ノ如シ

1 國道ノ管理者ヲ府縣知事ト爲スコトハ其ノ路線ノ認定者ヲ道路ノ管理者ト爲スル原則ニ對スル例外ナリ(第十七條)蓋シ國道ノ如ク全國ヲ貫通スル幹線道路ハ之ヲ道路ノ中央機關タル内務大臣ニ於テ管理スルハ敢テ不適當ナリト云フニアラサルモ其ノ道路ノ經過地ニ於ケル國及地方ノ利害ヲ代表セル府縣知事ニシテ之ヲ管理セシムルハ却テ便宜少ナカラサルノミナラス國道ト雖モ現在ニ於テハ其ノ多クハ府縣費ノ支辨ニ屬スルカ實情ナルヲ以テ本法ニ於テハ尙從來ノ主義ヲ踏襲シ國道ノ管理者ヲ府縣知事ト爲セリ

II 勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テ其ノ市內ノ國道及府縣道ヲ市長ヲ以テ其ノ管理者ト爲ス(第

十七條但書)而シテ現在ニ於テモ我國六大都市中横濱市及名古屋市ヲ除ク外他ノ大都市ハ總テ市内ノ國道及假定縣道ハ市長ノ管理ニ屬セシメツ、アリ蓋シ大都市ニ於テハ其ノ市内ノ國道及府縣道ハ市道ト共ニ街路ヲ形成スルモノナルヲ以テ都市設計上之ヲ市長ノ管理ニ屬セシメ統一シタル道路ノ築造其ノ他ノ施設ヲ爲サシムルハ極メテ緊要ナル事項ナルノミナラス其ノ道路ニ關スル費用ノ如キモ何レモ府縣經濟中市部經濟ニ屬スルヲ以テ其ノ管理ヲ市長ニ移スモ當該府縣及市ノ財政ニ直接著シキ影響ヲ及ホスコトナシ依リテ本法ニ於テハ是等ノ現狀ト社會ノ要求トニ鑑ミ特ニ第十七條但書ノ規定ヲ設ケ大都市内ノ道路ハ其ノ全部ヲ舉ケテ市長ノ管理ノ下ニ置クノ制度ヲ採用セリ

III 道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ係ルモノハ管理者タル關係行政廳ノ一ヲ以テ管理者ト爲スコトヲ得ルノ結果(第十八條第一項)其ノ道路ノ路線ノ認定者ノ一方カ道路ノ管理者タラサルコトアルヲ以テ此ノ場合ニ於テモ本法カ道路ノ路線ノ認定者ヲ其ノ管理者ト爲スノ原則ノ例外ヲ爲スモノト云フヘシ道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ係ル場合ト雖モ單ニ一般道路ノ如ク其ノ管理ノ方法ノ單純ナルモノニ在リテハ必シモ其ノ管理者ヲ一ニスルノ必要ナシト雖モ隧道橋梁及渡船場等ノ設備ハ其ノ管理ノ方法複雑ナルカ故ニ第十七條ノ規定ニ依リ本來管理者タルヘキ關係行政廳ノ一ヲ以テ其ノ管理者トシ之ヲ統一管理セシムルハ實際上便宜少ナカラサルヲ以テ第十八條第一項ニ於テハ此ノ如キ場合ニ處スルノ便宜方法ヲ設ケタリ即チ隧道橋梁及渡船場等ノ設備ニ在リテハ其ノ新設改築若ハ維持修繕ヲ爲スニ時ヲ同クシ材料ヲ統一シ工事方法ヲ等シクシテ之ヲ執行スルノ必要アルニ拘ラス是等カ行政區劃ノ境界ニ係ルカ爲各別ノ管理者ニ於テ之ヲ管理スルノ結果往々ニシテ統一施工ノ目的ヲ達成シ難キノ虞アルヲ以テ第十八條第一項ノ規定ニ依リ此ノ不便ヲ除去センコトヲ期シタルナリ

IV 道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌル場合ニ於テハ其ノ道路及工作物ノ管理者ノ併存スルコト仍道路カ行政區劃ノ境界ニ係ル場合ト異ナラサルカ故ニ此ノ場合ニ於テモ第十八條第一項ト同シク其ノ管理者タル行政廳ノ一ヲ以テ管理者ト爲スコトヲ得ルノ結果(第十八條第三項)其ノ道路ノ路線ノ認定者カ道路ノ管理者ト爲ラサルコトアルヲ以テ此ノ場合モ亦道路ノ路線ノ認定者カ道路ノ管理者ト爲ルノ原則ノ例外ヲ爲スモノト云フヘシ而シテ其ノ管理ヲ統一スルノ必要アルコトハ前項ニ付説明シタルト同一ノ理由ニ基ク只道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌル場合ニ於テハ工作物ノ管理者私人タルコトアルモ道路ノ管理者ハ本法ニ依ル廣汎ナル權限ヲ有スルヲ以テ私人ニ此ノ如キ管理ノ權限ヲ附與スルハ適當ナラサルモノト認テ私設公道ノ制度ヲ公認セザル以上ハ第十八條第二項ノ規定ニ依リ道路ト效用ヲ兼ヌル他ノ工作物ノ管理者タル私人カ道路ノ管理者タルハ之ヲ避ケサルヘカラサルカ故ニ特ニ第十八條第二項ニ但書ノ規定ヲ設ケ私人カ道路ノ管理者タルコトヲ禁止セリ

三道路管理者ノ職務權限ハ既ニ道路管理ノ意義ヲ説明セル場合ニ於テ一言セルカ如ク極メテ廣汎ナリ今之ヲ列記スレハ左ノ如シ

1 道路及沿道ノ區域ノ決定ニ關スル權限(第十九條及第五十條)道路ノ路線ノ認定ヲ爲シタルトキハ管理者ハ之ニ引續キテ道路ノ新設ヲ爲スコトヲ要ス道路ノ新設ヲ爲スカ爲ニハ管理者ハ道路ノ區域ヲ定ムルコトヲ要ス道路ノ區域中ニハ其ノ延長ハ勿論其ノ道路敷ノ幅員ヲモ包含ス道路ノ區域ハ道路管理ノ權限及道路警察權ノ及フベキ區域ニシテ又他ノ權力ハ行動及權利ノ行使ヲ排除シ得ヘキ區域ナリ故ニ道路區域ノ決定ヲ待チテ後初メテ本法ハ其ノ適用上ノ效果ヲ發揮シ得ヘキナリ(第六條第二條第二十八條第三條及第四十九條)道路ノ設備完成シタルトキハ管理者ハ更ニ沿道ノ區域ヲ定メサルヘカラズ沿道ノ區域ト稱スルハ道路ニ沿ヒ地形帶

ヲ一定ノ區域ニ依リ限界シテ表示セルモノヲ云フ而シテ沿道ノ區域ハ道路保護ノ爲必要ナル地帯ニシテ又此ノ目的ノ爲種々ノ義務ヲ負擔スヘキ地帯ナルカ故ニ其ノ決定ハ極メテ慎重ナル調査ヲ必要トスルハ勿論ナリ(第四十五條第四十八條及第四十九條)

2 道路設備完成維持ノ權限(第二十條乃至第二十四條)管理者ハ道路ノ新設改築修繕及維持ヲ爲シ道路ニ關スル法規ヲ執行シ道路ノ效用ヲ全ウスル一切ノ行爲ヲ爲スノ權限ヲ有スルモ其ノ權限中最モ主要ナル事項ハ道路ノ新設改築修繕及維持ヲ爲スノ權利ナリトス

I 道路ノ新設改築修繕及維持ハ管理者之ヲ爲スヲ原則トス而シテ現在ニ於テハ道路設備ノ完成維持ノ權限ハ本來道路管理者ノ權限ニ屬スヘキ事項ナルニモ拘ラス道路管理ノ權限ヲ有スル行政廳ニ存セスシテ公共團體ノ權限ニ委ネラレ公共團體ハ單ニ道路ノ費用ヲ負擔スルノ義務ヲ有スルノミナラス實ニ其ノ設備ヲ完成維持スルノ義務ヲ有セリ然ルニ本法ニ於テハ道路管理ノ權限ヲ一切道路ノ管理者タル行政廳ノ權限ト爲スノ主義ヲ採用セルカ爲道路設備ノ完成維持ノ權限ハ當然道路管理ノ權限ヲ有スル行政廳ニ歸屬シ公共團體ハ單ニ道路ノ費用ヲ負擔スルノ義務ヲ有スルニ過キサレコトト爲セリ既ニ道路ノ新設改築修繕及維持ハ一面管理者ノ權限タルト同時ニ一面亦管理者ノ義務ナルカ故ニ本法ニ特例ヲ認ムル場合ノ外管理者自ラ之ヲ執行スルコトヲ必要トシ他ノ者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得ス

II 道路ノ新設改築修繕及維持ハ管理者ニ於テ之ヲ爲スノ原則ニ例外少ナシトセス今之ヲ列記スレハ左ノ如シ

(イ) 道路ト他ノ工作物ト效用ヲ兼スル場合ニ於テハ管理者ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得ルハ管理者自ラ之ヲ執行スルノ原則ニ對スル例外ナリ(第二十一條)第二十一條ハ道路ト效用ヲ兼スル他ノ工作物ヲ第十八

條第二項ノ規定ニ拘テス之ヲ統一管理セシメ各管理者ニ於テ別個ニ之ヲ管理スル場合ニ於テ道路管理者其ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ爲サシメ得ヘキコトヲ規定セリ蓋シ管理者ハ自ラ道路ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ爲サシメ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ便宜トスル場合少ナカラサレハナリ第二十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ命セラレタル工作物ノ管理者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス第二十一條但書ニ於テ河川法第十條第一項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ第二十一條ノ規定ニ依テシテ河川法ノ規定ニ依ルヘキモノトセルハ本法ノ規定ト河川法ノ規定ト互ニ相牴觸スルヲ以テ本法ハ一步ヲ河川法ニ譲リ其ノ牴觸ヲ避クルコトト爲シタルカ爲ナリ第二十一條ノ規定ニ依ル道路ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ニ要スル費用ノ負擔方法ハ第三十四條ノ規定ニ依ル

(ロ) 他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ハ管理者其ノ工事執行者又ハ行爲者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得ルハ管理者自ラ之ヲ執行スルノ原則ニ對スル例外ナリ(第三十條)第二十二條ハ道路工事ニ原因ヲ與ヘタル者他ニ存スル場合ニシテ他ノ工事又ハ行爲ノ結果ニ依リ道路ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタル場合タルト他ノ工事又ハ行爲ヲ爲スカ爲豫メ道路ニ關スル工事ヲ必要トスル場合タルトハ問ハス管理者ハ他ノ工事ノ執行者又ハ行爲者ヲシテ爲ニ必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ヲ執行セシムルコトヲ得シメタリ而シテ特ニ此ノ如キ場合ニ於テ管理者ニ自ラ之ヲ執行スルカ又ハ他ノ者ヲシテ之ヲ執行セシムルカノ選擇權ヲ附與セル所以ニモハ直接道路管理者カ手ヲ下シテ其ノ道路ニ關スル工事ヲ執行スルヨリモ寧ロ之ヲ他ノ工事執行者又ハ行爲者ニ執行セシムルヲ便宜トスル場合少ナカラサルカ爲ナリ例ヘハ地下電線水道管若ハ瓦斯管理設ク爲道路ノ掘鑿跡埋又ハ砂利敷等ノ工事ヲ爲ス

カ如キ又ハ鐵道敷設ノ爲交通頻繁ナル道路ニ踏切ニ代ヘテ陸橋ヲ架設スルカ如キハ皆他ノ工事ノ爲道路ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタル事例ニシテ又重量貨物運搬ノ爲耐力不充ナル橋梁ニ豫メ補強工事ヲ爲スカ如キ又ハ重量貨物運搬ノ爲道路橋梁ヲ破壊シ其ノ復舊工事ヲ執行スルカ如キハ何レモ他ノ行爲ノ爲道路ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタル事例ナリトス而シテ其ノ爲ニ必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ費用ハ管理者第三十七條ノ規定ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ他ノ工事又ハ行爲ニ付費用ヲ負擔スル者ニ負擔セシム

(ハ) 特別ノ事由アル場合ニ於テハ管理者タル行政廳ハ下級行政廳又ハ私人ヲシテ道路ノ修繕ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得ルハ管理者自ラ之ヲ執行スルノ原則ニ對スル例外ナリ(第二十三條)第二十三條ニ於テ特別ノ事由アル場合ニ限り管理者カ一方的ニ道路修繕ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ下級行政廳又ハ私人ニ命スルコトヲ得ルノ規定ヲ設ケタルハ主トシテ實際上ノ便宜ニ出テタルニ外ナラス第二十三條ノ適用ニ付テハ特別ノ事由アル場合ナルコト道路ノ修繕ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ナルコト及相手方ハ下級行政廳又ハ私人ナルコトノ三要件ノ具存スルコトヲ必要トス特別ノ事由アル場合ナルヤ否ヤハ管理者ノ認定ニ依ルハ勿論ナリト雖モ茲ニ特別ノ事由アル場合ト稱スルハ例ヘハ下級行政廳又ハ私人カ道路ノ修繕工事又ハ道路ノ維持ニ直接ノ利害關係ヲ有スル場合ノ如キ又ハ下級行政廳又ハ私人ニ於テ道路ノ修繕工事又ハ道路ノ維持ヲ執行シ來レル慣行ノ存スル場合ノ如キ其他下級行政廳又ハ私人ニ之ヲ執行セシムルニ付特ニ便宜アリト認ムル場合ノ如キハ總テ之ニ包含セシムルモノトス河川法第九條ニ於テ之ト類似ノ規定ヲ設ケタルモ其ノ適用ノ範圍及方法ノ著シク之ト異レルヲ見ルヘシ而シテ其ノ費用ノ負擔ニ付テハ管理者ハ第三十八條ノ規定ニ依リ特別ノ事由アル場合ニ限り命ヲ受ケタル下級行政廳ノ統轄スル公共團體又ハ私人

三其ノ全部又ハ一部ヲ命スルコトヲ得
 (二) 管理者ニ非サル者ハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ
 維持ヲ爲スコトヲ得ル者ハ其ノ管理責任者自ラ之ヲ執行スルノ原則ニ對スル例外ナリ(第二十四條)第二十
 四條ハ管理者ニ非サル者ニ其ノ出願ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ道路ニ關スル工事又
 ハ道路ノ維持ヲ執行スルコトヲ得シム第二十四條ニ於テ管理者ニ非サル者ト稱スルハ私人ハ
 勿論國又ハ公共團體ヲモ之ニ包含セシムルモノトス而シテ既ニ説明セル(イ)(ロ)ハ各場合ニ於
 テハ管理者ガ一方的ニ之ヲ命シ得ルモノナルモ第二十四條ニ於テハ管理者カ管理者ニ非サル
 者ヲ出願ヲ待テ之ヲ許可又ハ承認スルモノトス蓋シ管理者ニ非サル者ニシテ自己ノ便宜ヲ
 爲又ハ公益ノ爲自ラ進シテ道路ニ關スル工事ヲ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲サントスル者アルト
 キハ支障ノ存セサル限り管理者ハ之ニ許可又ハ承認ヲ與フルハ實際ニ於テ極メテ必要ナル事
 項ナルヲ以テ特ニ第二十四條ノ規定ヲ設ケ此ノ必要ニ適應セシメンコトヲ期セリ而シテ管理
 者ニ非サル者ニ於テ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲サントスル出願シタルトキ
 ハ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得サルハ第二十四條カ管理者ニ許可又ハ承認ノ權限ヲ與フル
 下同時ニ管理者ニ非サル者ニ對シテモ出願ニ依リ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ
 爲スノ權限ヲ與ヘタルニ依リ明ラカナリ而シテ管理者ハ管理者ニ非サル者ニ道路ニ關スル工
 事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムル場合ニ於テハ之ニ對シ十分ノ監督ヲ加フルハ道路管理
 維持上極メテ緊要ノ事項タリ第二十四條ノ規定ニ依リ府縣郡ハ其ノ出願ニ依リ市道若ハ町村
 道ノ工事又ハ其ノ維持ヲ爲シ得ヘキモノナルカ故ニ一度其ノ運用ヲ誤ラシムルカ爲ニ本法ノ主
 眼ニセル道路ノ費用負擔所屬ノ區分ヲ不明瞭ナラシムルニ至リ道路ノ整備改善上ニ支障ヲ來
 シ其ノ弊害計ルベカラサルモノナルヲ以テ同條ノ適用ニ付テハ特ニ深甚ナル注意ヲ必要トス

第二十四條ノ費用ハ第三十六條ノ規定ニ依リ其ノ許可又ハ承認ヲ得タル者ノ負擔トス

3 附帶工事執行ノ權限(第二十五條)

第二十五條ニ於テハ管理者ニ對シ道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ハ管理者道路ニ關スル工事ト共ニ之ヲ執行スルコトヲ得ルノ權限ヲ與ヘタリ蓋シ第二十五條ノ規定ノ存スルニ依リテ道路工事ニ附帶スル他ノ工事ハ道路工事ニ非サルモ管理者之ヲ執行スルコトヲ得ヘク又相手方ノ意思如何ニ拘ハラス管理者之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ而シテ道路工事ニ附帶スル他ノ工事ハ道路工事ト併セ之ヲ執行スル場合ニ非サレハ管理者之ヲ執行スルコトナシ此ノ點ニ付テハ河川法第十一條第一項及砂防法第八條ノ規定ハ本法ノ規定ト相牴觸スルヲ以テ河川法及砂防法ハ道路法ニ一步ヲ讓リ本法ニ依ル道路ニ之ヲ適用セス本法ニ於テ管理者ニ對シ道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ヲ道路ニ關スル工事ト共ニ執行スルコトヲ得ル權限ヲ認メタルハ道路工事ニ附帶スル他ノ工事ハ道路工事ノ執行ト一體不離ノ關係ニ立ツ場合少ナカラサルカ故ニ此ノ如キ場合ニ於テハ別個ニ其ノ工事ヲ執行スルトキハ却テ道路ニ關スル工事ノ遅延ヲ來シ不便少ナカラサルヲ以テ特ニ第二十五條ノ規定ヲ設ケ道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ハ管理者道路ニ關スル工事ト共ニ併セ之ヲ執行スルコトヲ得ルコトトセリ第二十五條ノ規定ハ管理者ニ對シテノミ道路工事ニ附帶スル他ノ工事ヲ執行スルノ權限ヲ與ヘタルニ過キササルヲ以テ管理者ニ非サル者ハ相手方ノ意思ニ反スルトキハ道路工事ニ附帶スル他ノ工事ハ之ヲ道路工事ト共ニ併セ執行スルコトヲ得サルナリ

4 道路ニ關スル出願工事許可承認ノ權限(第二十四條)

管理者ニ非サル者ニシテ其ノ出願ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲サントスルトキハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得サルヘカラス而シテ管理者ハ管理者ニ非サル者ノ出

願ヲ許可又ハ承認スルノ權限ヲ有ス第三十四條ノ規定ニ關シテハ既ニ之ヲ詳明シタルヲ以テ再ヒ茲ニ之ヲ述ベス

5 貨取橋又ハ貨取渡船場ノ設置及其ノ設置ヲ許可承認ノ權限(第二十六條及第二十七條)

道路ハ自由交通ヲ原則トスルカ故ニ道路ノ附屬物タル橋梁又ハ渡船場ノ使用ニ對シ貨錢ヲ徵收スルハ交通吏上極メテ過去ノ制度ニ屬シ交通經濟ヲ見地ヨリ觀察スルトキハ決シテ良制度ナリト云フコトヲ得ヌト雖モ單ニ制度上ノ理想ニ馳スルニ專ラニシテ橋梁又ハ渡船場ハ總テ道路管理者ニ於テ之ヲ施設シ其ノ通行ニ對シ貨錢ヲ徵收スルコトヲ得ヌト爲スルキハ費用ヲ負擔スルキ公共團體ノ資力不充分ナルカ爲此ノ種ノ施設ヲ爲スコトヲ得ヌシテ交通上益々困難ヲ生スルニ至ルヘキカ故ニ現在ニ於テハ暫ク從來ノ取扱例ニ從ヒ道路ノ制度トシテ實際ノ實情ニ鑑ミ當然管理者ニ於テ是等ノ施設ヲ爲ス能ハサルトキハ管理者タルト國又ハ公共團體タルト私人タルトヲ問ハス廣シ橋梁又ハ渡船場ヲ設テ貨錢ヲ徵收ズルコトヲ許シ名ヲ捨テテ實ヲ採ルノ主義ニ依リ我國現下ノ交通ノ需要ニ應ゼントス之レ貨取橋及貨取渡船場ノ制度ヲ認メタル所以ナリ現在ニ於テハ明治四年布告治水修路架橋等運輸ノ便利ヲ興ス者ニ税金取立方許可ニ關スル件ニ依リ貨取橋及貨取渡船場ノ設置ヲ許可又ハ承認シツツアリ而シテ前掲布告中ニハ道路ヲ設ケ之ヨリ路錢ヲ徵收スルノ制度ヲ公認セツト雖モ現在ニ於テ路錢徵收ノ許可又ハ承認ヲ與ヘタルモノナキノミナラス路錢徵收ノ制度ニ貨取橋又ハ貨取渡船場ノ制度ニ比シテ層交通上ノ支障少ナカラサルカ故ニ本法ニ於テハ之ヲ認メサルコトトセリ(第五十六條第三號)獨逸ニ於テハ廣シ道路橋梁及渡船場ヲ設テ貨錢ヲ徵收スルノ制度ヲ認公ルモ英國ニ於テハ貨取橋及貨取渡船場ノミヲ認メ貨取道路ハ過去ニ於テハ之ヲ認メタルモ現在ニ於テハ之ヲ認メス又佛國ニ於テハ英國不同シテ貨取橋及貨取渡船場ハ之ヲ認ムルモ貨取道路ハ之ヲ

認メサルノミナラス賃取橋及賃取渡船場モ次第ニ之ヲ整理セントシツツアリ既ニ述ヘタルカ如ク賃取橋及賃取渡船場ノ制度ハ實ハ誠ニ止ムヲ得サルニ出テタルモノナルカ故ニ其ノ經營ノ主體及其ノ方法ニ付テハ交通政策上更ニ深甚ノ考究ヲ加ヘサルヘカラス抑モ本法ニ於テハ其ノ經營ノ主體ヲ二種ニ區別シ一ヲ管理者トシ他ヲ管理者ニ非サル者トセリト雖モ管理者ニ非サル者ノ中ニモ國アリ公共團體アリ又私人アルカ故ニ事實ニ於テハ其ノ經營ノ主體ハ四種ニ區別セラレ得ルナリ而シテ之ヲ實際ニ徵スルニ現在ニ於テ賃取橋及賃取渡船場ノ經營者ハ國縣道上ニ存スルモノニ付テハ公共團體タルモノナキニアラスト雖モ其ノ大部分ハ尙私人ノ經營ニ屬セリ殊ニ里道ニ至リテハ公共團體ノ經營ニ屬スルモノ極メテ少ナクシテ概ネ私人ノ經營ニ屬セリ然ルニ私人ヲ以テ賃取橋及賃取渡船場ヲ經營セシムルトキハ動モスレハ經營者ハ橋梁又ハ渡船場ヨリ生スル收入ヲ原資ノ償却ニ充當セサルノミナラス或ハ收支ノ計算ヲ曖昧ナラシメテ其ノ許可年限ノ伸長ヲ計リ若ハ維持修繕ヲ怠リテ交通上ノ危險ヲ惹起スルカ如キコトナキヲ保シ難キヲ以テ寧ロ管理者又ハ公共團體ヲシテ是等ノ經營ニ當ラシムルヲ適當トスヘキカ如シ尤モ管理者ハ當然橋梁又ハ渡船場ヲ施設スルノ義務ヲ有スルカ故ニ管理者ニ對シ此ノ種ノ橋梁又ハ渡船場ノ設置ヲ認ムルハ當ヲ得サルカ如ク爲ニ今日迄ハ此點ヲ考慮シテ公共團體カ賃取橋又ハ賃取渡船場ヲ經營スルハ單ニ其ノ義務ニ屬セサル道路ニ關スルモノニ限り之ヲ公認スルノ取扱ヲ爲シ來レリト雖モ現在ニ於テハ橋梁ノ如キ其ノ築造技術ノ進歩ニ伴ヒ永久工事ヲ行フヘキノミナラス重量貨物ノ通過ニ堪ヘ得ルカ爲相當ノ耐力ヲ有スルモノヲ築造セサルヘカラサルカ爲勢ヒ鉅額ノ費用ヲ要スルヲ以テ若シ管理者ノ統轄スル公共團體ニ於テ其ノ負擔ニ堪フル能ハサル場合ニ於テハ多少ノ橋錢ノ徵收ヲ許シ之ヲ公債償還ノ財源ニ充當スルコトヲ得シメテ完全ナル橋梁ノ築造ヲ獎勵スルハ一般交通ノ利便ヲ増進スル上

ニ於テ之ヲ私人又ハ他ノ公共團體ニ許スニ勝ルコト百歩ノミノ差ニハアラサルナリ故ニ本法
 ニ於テハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ管理者ニ對シテモ賃取橋又ハ賃取渡船場ノ設置ヲ認ム
 ルコトトセリサレハ本法適用上ノ方針トシテハ賃取橋又ハ賃取渡船場ヲ設クル場合ニ於テハ
 先ツ第二十七條ノ規定ニ依リ管理者ニ於テ此ノ種ノ橋梁又ハ渡船場ヲ設クルヤ否ヤヲ調査シ
 管理者ニ於テ之ヲ設クル能ハサル事由アルトキハ第二十六條ノ規定ニ依リ他ノ公共團體之ヲ
 設クルヤ否ヤヲ調査シ成ルヘク之ニ許スコトトシ公共團體ニ於テ之ヲ設クルコト能ハサル場
 合ニ於テ初メテ止ムヲ得ス之ヲ私人ニ許スコトトシ能フ限リ此ノ種橋梁又ハ渡船場ノ設置ヲ
 私人ニ許可スルコトハ之ヲ避ケサルヘカラサルノミナラス從來私人ニ許可シタルモノト雖モ
 將來ニ於テハ此ノ方針ニ依リテ相當整理ヲ遂ケ以テ交通上ノ支障ヲ除却スルニ力ムヘシ管理
 者ニ於テ賃取橋又ハ賃取渡船場ヲ設ケントスルトキハ監督官廳ノ許可ヲ受ケヘシ又管理者ニ
 非サル者ニ於テ賃取橋又ハ賃取渡船場ヲ設ケントスルトキハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得ザル
 ヘカラズ管理者之ヲ許可又ハ承認セントスルトキハ上述ノ趣旨ニ依リ之ヲ措置スルヲ適當ト
 スヘシ第二十六條ノ規定ニ依リ設ケタル橋梁又ハ渡船場ノ管理權ハ固ヨリ道路ノ附屬物ナル
 カ故ニ道路管理者ニ屬セリト雖モ其ノ維持及修繕ニ關スル費用ハ其ノ徵收期間内ハ其ノ經營
 者ノ負擔ニ屬シ經營者ハ自己ノ費用ヲ以テ之ヲ維持修繕セサルヘカラス(第二十六條第三項及第
 三十六條)蓋シ此ノ種橋梁又ハ渡船場ノ經營者ハ橋梁又ハ渡船場ヨリ橋錢又ハ渡錢ヲ徵收シ其
 ノ徵收シタル橋錢渡錢ハ經營者ノ收入ニ屬スルヲ以テ(第四十四條但書)自己ノ費用ヲ以テ之カ
 維持修繕ヲ爲スハ固ヨリ當然ノ事トナリトス尙管理者ニ非サル者ニ於テ無賃ノ橋梁又ハ渡船
 場ヲ設ケ之ヲ維持セントスルトキハ第二十四條ノ規定ニ依ルヘク第二十六條ノ規定ニ依ルヘ
 カラサルハ更ニ詳説ヲ要セズ

6

道路占用ノ許可承認ノ權限(第二十八條及第二十九條)

道路ハ一般交通ノ用ニ供スル設備ナルカ故ニ之ヲ占用スルコトヲ得サルヲ原則トシ只例外トシテ交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ特ニ管理者其ノ占用ヲ許可シ又ハ承認スルコトヲ得占用トハ道路ヲ其ノ目的タル交通以外ノ爲ニ使用スルコトヲ云フ道路ヲ交通ノ爲ニ使用スルヲ一般使用ト稱スルニ對シ交通以外ノ目的ノ外ニ使用スルコトヲ特別使用ト稱スルコトアリ茲ニ占用ト稱スルハ所謂道路ノ特別使用ヲ意味スルニ外ナラス現在ノ實況ニ於テハ道路ノ占用ハ屢々交通ノ妨ケト爲リ占用物アルカ爲著シク道路ノ有效幅員ヲ減少スル場合少ナカラサルカ故ニ本法ニ於テハ道路ノ占用ハ特ニ交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ之ヲ許可又ハ承認スヘキコトヲ明示セリ而シテ道路ノ占用ヲ爲スカ爲ニハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得ルハ勿論ナリト雖モ之ト同時ニ道路取締ノ必要上道路警察官署ノ許可又ハ承認ヲ得サルヘカラサルヲ以テ道路ノ占用ニ付テハ道路管理上ノ許可又ハ承認ヲ得タル場合ト雖モ警察官署ノ許可又ハ承認ヲ得ルニアラサレハ事實ニ於テ其ノ占用權ヲ完全ニ行使スルコトヲ得サルナリ故ニ道路ノ占用ニ付テハ二個ノ許可官廳ヲ有スルモノト云フヘシ本法ニ於テハ國ノ事業ノ爲道路ヲ占用スル場合ニ付其ノ占用手續ニ特例ヲ認メタリ蓋シ國ノ事業ハ全國ニ利害關係ヲ有シ而モ豫算ノ關係上急施ヲ要シ其ノ都度管理者ノ承認ヲ得ルコト困難ナルヲ以テ特ニ第二十八條第二項ノ規定ヲ設ケ事業ヲ執行スヘキ當該官廳ハ内務大臣ト協議シテ道路ノ占用ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テモ道路ノ占用カ交通ノ妨ケトナラサル限度ニ於テ行ハルヘキハ勿論ナリトス現在ニ於テハ國ノ事業ニシテ電信線電話線建設條例軍用電信法陸地測量標條例及水路測量標條例ニ依ルモノニ付テハ當該官廳ノ見ル處ニ依リ單獨ニ道路ノ占用ヲ爲シ得ルカ爲動モスレハ道路ト此ノ種ノ施設ト相兩立スルコトヲ得サルノ憾アリシカ故ニ本法ニ於テ國ノ事業ニ關シ第二十八

條第三項ノ規定ニ依ル便法ヲ認然ル道同時ニ道路ノ占用ハ國ノ事業ト雖モ總テ本法ノ規定ニ依ルコト兼テ前記ノ法令ハ本法ニ依ル道路ニ之ヲ適用セザルコトトモセリ國ノ事業ノ爲道路ヲ占用スル場合ト雖モ事業輕易ナルモ以テ必スシモ之ヲ當該官廳ト内務大臣トノ協議事項ト爲スノ必要アリ以テ第三十八條第三項ノ規定ヲ設ケ内務大臣ノ職權ノ一部ハ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ許セリ而シテ此ノ場合ニ於テ當該官廳ハ地方長官ト協議シテ道路ノ占用ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ

道路ノ占用ヲ出願シタル場合ニ於テ事業者其ノ許可又ハ承認ヲ拒マザルトキハ本法ノ規定ニ依リ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シテ行政上ノ救濟ヲ求ムルコトヲ得ヘシ雖モ占用料之如キハ監督權ニ基キ料金ニ制限ヲ加ヘラルル場合ノ外ハ全ク管理者ノ自由ニ定ムル處ナシヲ以テ行政上ノ救濟モ亦事實上ニ於テ極メテ困難ナリトス之レ事物ノ性質上道路ヲ主位ニ置キ他ノ事業ニ次位ニ置クノ必要ニ出ラタルモ之ニシテ固ヨリ止ムヲ得サルヘシト雖モ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル公共ノ利益ト爲ルヘキ事業以爲ニハ相當ノ保護規定ヲ設クルシ必要アリ

認メ管理者正當ノ事由ヲクシテ其ノ許可又ハ承認ヲ拒ミ又ハ不相當ナル占用料ヲ定メタルトキハ事業者ニ對シ直ニ内務大臣ニ申請シテ其ノ決定ヲ求ムルノ權利ヲ與ヘタリ斯ノ如キ保護規定ヲ設ケ爲事業者ハ市道又ハ町村道ノ占用ニ關シテモ其ノ不當處分ニ對シ直ニ内務大臣ニ其ノ決定ヲ申請スルコトヲ得ルヲ以テ能ク道路交通ノ保全ト公共事業ノ保護トヲ調和セシムルコトヲ得ルキナリ

道路占用ノ許可又ハ承認ヲ得タル者該道路ヲ占用ニ依リ利益ヲ受クルヲ以テ其ノ報償トシテ管理者ノ請求ニ應ジて使用料ヲ納付セザルルヘカラス而シテ其ノ使用料ハ道路ニ關スル費用ヲ負擔スルハ管理者タル行政廳長統轄スル公共團體該收入ニ歸屬セシムル第四條四條管理者ヲ占用

料ヲ徵收スルコトヲ得ヘキ道路ノ占用ハ本法ノ規定ニ依ルト他ノ法令ノ規定ニ依ルトヲ問ハス然レトモ國ノ事業ハ總テ公課ヲ免除セラルルノミナラス其ノ執行區域モ亦廣汎ニ亘ルヲ以テ占用料ヲ徵收セラルルトキハ事業執行上支障少ナカラサルヲ以テ第二十八條第三項但書ノ規定ヲ設ケ國ノ事業ニ付テハ占用料ヲ徵收セサルコトトセリ

7 道路工事ノ爲沿道土地ニ立入又ハ之ヲ使用スルノ權限(第四十五條)

8 非常災害ノ場合ニ於ケル人ノ使役又ハ物件ノ使用若ハ收用ノ權限(第四十六條)

9 道路保全ノ爲ニスル非常管理ノ權限(第五十一條)

10 行政上ニ於ケル強制執行ノ權限(第五十四條及第五十五條)

前四項ハ何レモ本法カ管理者ニ與ヘタル重要ナル權限ナルモ尙後段ニ於テ之ヲ詳述スルノ機會アルカ故ニ茲ニハ單ニ之ヲ列記スルニ止メントス

11 道路臺帳調製ノ權限(第三十條)

管理者ハ其ノ管理ニ屬スル道路臺帳ヲ調製スルノ職務權限ヲ有ス蓋シ本法ニ於テハ既ニ述ヘタルカ如ク道路及沿道ノ區域ノ決定ハ之ヲ管理者ノ權限ト爲シ道路ノ區域内ニ於ケル道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニハ私權ノ存在ヲ認め只其ノ行使ノミヲ停止セル以上ハ是等ノ關係ヲ判明ナラシムルカ爲之ヲ表示スヘキ道路臺帳ヲ必要トスルハ固ヨリ論ヲ俟タサル所ナルヘシト雖モ現在ニ於テハ法令ニ於テ道路臺帳ノ調製ヲ強制セサルカ爲之ヲ有スルモノ極メテ稀ニシテ爲ニ道路管理上遺憾少ナカラサルカ故ニ本法ニ於テハ總テノ道路ニ付道路臺帳ヲ調製セシムルコトトセリ道路臺帳ハ河川法ノ規定ニ依ル河川臺帳ト異リ其ノ證據力ニ關シ別ニ法律上ノ效果ヲ附セサルヲ以テ其ノ記載事項ハ極メテ簡明ナルヲ以テ足ルノミナラス反テ繁多ニ過キンカ單ニ其ノ調製ニ困難ヲ感スルノミナラス實用ニ適セサルノ結果ニ陷ルコトナキ

ヲ保シ難キカ故ニ第三十條第二項ノ規定ニ依ル命令ハ此ノ趣旨ヲ以テ極メテ簡單ニ之ヲ制定セントス道路臺帳ノ調製ニ要スル費用ハ道路ニ關スル費用ナルヲ以テ第三十三條第二項以下ノ規定ニ依リ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔タルヘシ而シテ其ノ調製シタル道路臺帳ハ之ヲ保管シテ執務ノ用ニ供スヘキモノナルヲ以テ管理者ニ於テ保管ノ責ニ任スヘキハ本法何等ノ規定ヲ設ケスト雖モ固ヨリ當然ノ事項ナリトス

四道路ノ構造維持修繕及工事執行ノ方法(第三十一條)

道路ノ構造維持修繕及工事執行ノ方法ハ本法中ニ之ヲ規定セスシテ命令ノ規定ニ委任スルコトトセリ是等ハ何レモ主トシテ技術ニ關スル事項ニシテ時代ノ進歩ト學術ノ發達トニ伴ヒ常ニ變遷極リナキモノナルヲ以テ之ニ順應シテ適當ナル規定ヲ設クルカ爲ニハ固定性ヲ有スル法律ヲ以テセンヨリハ寧ロ比較的彈力性ニ富ム命令ヲ以テシ必要ニ應シテ常ニ改正ヲ怠ラサルヲ勝レリトス但シ道路ノ構造ニ關スル命令ノ如キハ其ノ規定ノ如何ニ依リ道路ニ關スル費用ノ多寡ニ關係シ公共團體ノ財政ニ影響スル所大ナルヲ以テ其ノ制定ニ先チ道路會議ノ意見ヲ徵スルヲ適當トス

五道路管理吏員ノ設置(第三十二條)

道路管理ノ爲必要ナル吏員ハ現在ニ於テハ府縣吏員郡吏員又ハ市町村技術員トシテ之ヲ設置セルモ其ノ待遇産業ニ關スル他ノ吏員ト同一ナラサルノミナラス其ノ組織モ亦完全ナラサルカ故ニ本法ニ於テハ現在道路ノ管理ニ從事セル吏員ニ對シ其ノ系統ヲ正シ待遇ヲ付シ道路管理ノ爲府縣郡市町村ニ相當員數ノ道路管理吏員ノ配置ヲ見ルニ至ランコトヲ期シタリ而シテ道路ノ管理ハ本法ニ於テハ之ヲ國ノ行政廳ノ職權ト爲シタルヲ以テ道路ノ管理ニ關スル事務ハ國政事務ナルモ道路管理ノ爲必要ナル吏員ノ設置ニ要スル費用ハ道路ニ關スル費用トシテ

管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ニ之ヲ負擔セシムルノ必要アルヲ以テ特ニ第三十二條ノ規定ヲ設ケ勅令ヲ以テ其ノ設置及其ノ職務權限ヲ規定シテ一面道路管理吏員ハ國ノ機關タルコトヲ明カニスルト同時ニ一面其ノ費用ハ當然道路ニ關スル費用トシテ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トスルコトヲ明カニセリ

第四章 道路ニ關スル費用及義務

道路ノ費用ノ負擔ニ付テハ既ニ述ヘタルカ如ク現在ニ於テハ單ニ土木費負擔所屬區分ニ關スル明治十一年大政官達ノ存スルノミニシテ而モ道路ノ種類及等級ト費用負擔所屬區分トハ何等必然的ノ關係ヲ有セサルカ爲動モスレハ運用上種々ノ弊害ヲ生スルコト少ナカラサルヲ以テ本法ニ於テハ特ニ此點ニ關スル規定ヲ設ケ道路ノ資格ト費用負擔ノ所屬區分トヲ一致セシメ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設改築ニ要スル費用ハ之ヲ國庫ノ負擔トシ(第三十三條第一項)其ノ他ノ道路ニ關スル費用ハ總テ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トシ(第三十三條第二項)主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道以外ノ國道ノ新設改築ニ要スル費用ハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助シ得ルコトトシ尙特別ノ事由アル場合ニ於テハ府縣道以下道路ノ新設改築ニ要スル費用ニ對シテモ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助シ得ルコトトセリ(第三十五條)而シテ總テノ道路ヲ通シテ特別ノ必要ニ依リ(第三十九條及第四十條)又ハ特別ノ事由ニ依リ(第三十六條乃至第三十八條)國又ハ他ノ公共團體若ハ私人ヲシテ道路ニ關スル費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得而シテ既ニ述ヘタルカ如ク勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テハ市内ノ國道及府縣道ハ市長ヲ以テ管理者トシ其ノ費用ハ當該市ノ負擔トス(第十七條及第三十三條)尙道路ヨリ生スル收益ノ歸屬ヲ明瞭ナラシムルカ爲特ニ規定ヲ設ケ(第四

十條)又沿道又ハ道路附近地ノ甘受セザルヘカラサル義務ニ關スル規定ヲ設ケタリ
 一 道路ニ關スル費用ノ負擔方法

道路ニ關スル費用ト稱スルハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ道路ノ新設改築
 修繕及維持其ノ他道路ノ管理ニ要スル一切ノ費用ヲ包含スルモノナルカ故ニ是等ノ目的ノ爲
 ニ要スル人又ハ物件ノ費用ハ勿論道路工事ノ爲他人ニ損害ヲ及ホシタル場合ニ於ケル賠償金
 等モ亦道路ニ關スル費用ナリトス今其ノ負擔方法ヲ列記スレハ左ノ如シ

1 道路ニ關スル費用負擔ノ原則(第三十三條乃至第三十五條)

道路ニ關スル費用ハ原則トシテ國庫又ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔ニ屬ス
 更ニ場合ヲ分チテ之ヲ説明スヘシ

I 國庫ノ負擔スル場合(第三十三條第一項及第三十四條)

主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設改築ニ要スル費用ハ
 之ヲ國庫ノ負擔トセリ惟テニ國道ノ費用ニ付テハ國道カ國內交通ノ幹線タル點ヨリ見ルトキ
 ハ其ノ費用ハ全部國庫ノ負擔トスヘキモノナルヘシト雖モ我國現下ノ財政狀態ハ之ヲ實行ス
 ルノ困難ナル事情アルカ爲成ルヘク實行ニ容易ナル制度ヲ設ケントスルノ趣旨ト只國道カ國
 內交通ノ幹線タルト同時ニ地方交通ニ利用セラルルコト少ナカラサルトニ鑑ミ國庫負擔ノ國
 道ト國庫補助ノ國道トヲ認メ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國
 道ノ如ク國家的見地ヨリ其ノ必要ヲ認メラレ主トシテ國內交通ノ爲ニ利用セラレ比較的
 交通ニ關係ノ薄弱ナル國道ノ費用ヲ全部地方公共團體ノ負擔トスルハ酷ニ失スルヲ以テ其ノ
 新築改築ノ費用ハ之ヲ國庫ノ負擔トシ其ノ他維持修繕ノ費用ハ之ヲ新設改築ノ費用ニ比スレ
 ハ極メテ少額ナルヲ常トスルカ故ニ此ノ種ノ國道カ多少地方交通ニ利用セラルル點ニ鑑ミ

テ之ヲ地方公共團體ノ負擔トセリ而シテ第三十三條第一項ニ規定スル國道ニシテ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルモノナルトキハ其ノ費用負擔方法ニ付テハ河川法第三十條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ河川法ノ規定ニ依リ然ラサル場合ニ於テハ關係者間ノ協議ニ依リ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ決定ニ依ル

II 管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔ニ屬スル場合(第三十三條第二項及第三十四條) 第卅三條第一項ニ該當スルモノヲ除クノ外ノ道路ニシテ府縣知事ノ管理スル國道及府縣道ニ最モ密接ナル利害關係ヲ有スルモノハ府縣郡長ノ管理スル郡道ニ最モ密接ナル利害關係ヲ有スルモノハ郡市町村長ノ管理スル市道及町村道ニ最モ密接ナル利害關係ヲ有スルモノハ市町村ナルカ故ニ管理者タル府縣知事郡長市長町村長ノ統轄スル公共團體タル府縣郡市町村ヲシテ各其ノ費用ヲ負擔セシムルニトセリ以上ハ是レ本法ノ採用セル原則ナリト雖モ例外トシテ當該公共團體以外ニ更ニ一層道路ニ密接ノ利害關係ヲ有スル者アルトキハ之ニ對シ公共團體ニ代ヘテ其ノ費用ヲ負擔セシムルノ主義ヲ併セ採用セリ既ニ述ヘタルカ如ク第卅三條第一項ニ規定セルモノヲ除クノ外ノ道路ノ費用ハ其ノ管理者タル府縣知事ノ統轄スル公共團體タル府縣ノ負擔ニ屬セシメタリト雖モ第卅三條第一項ニ規定スル以外ノ國道モ亦國內交通ノ幹線タルカ故ニ更ニ此點ニ鑑ミテ其ノ新設改築ノ費用ノ一部ハ之ヲ國庫ヨリ補助シ得ルコトトシ更ニ特別ノ事由アル場合ニ於テハ府縣道以下ノ道路ノ新設改築ニ要スル費用ニ付テモ其ノ一部ハ之ヲ國庫ヨリ補助シ得ルコトトセリ行政區劃ノ境界ニ係ル道路ノ管理ニ付テハ既ニ述ヘタリ而シテ其ノ道路ニ關スル費用ノ負擔ニ付テハ關係行政廳ノ協議ニ依リ之ヲ定メ協議調ハサルトキハ内務大臣ノ決定ニ依ル第卅三條第二項ノ道路ニシテ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルモノナルトキハ其ノ費用ノ負擔方法ニ付テハIニ於テ説明セルト同一ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

2 道路ニ關スル費用負擔ニ例外(第三十七條乃至第四十條)

道路ニ關スル費用ハ原則トシテ國庫又ハ管理者タル行政廳ニ統轄スル公共團體ノ負擔ニ屬シ
レトモ例外トシテ國又ハ他ノ公共團體又ハ私人ニ於テ之ヲ負擔スル場合少ナカラス

1 法律上當然他ノ者ノ負擔ニ屬スル場合(第三十六條)

管理者ニ非サル者カ管理者ヲ許可又ハ承認ヲ得テ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持
ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ全部許可又ハ承認ヲ得タル者ノ負擔トス又管理者ニ非サ
ル者カ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ一定ノ期間橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スルコトヲ得ル橋梁又ハ渡船
場ヲ設ケタル場合ニ於テ之ニ費用ハ全部許可又ハ承認ヲ得タル者ノ負擔トス是等ハ何レモ出願
ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲ス者ニシテ之ニ密接ノ利害ヲ有スル者
ニ依リ以テ其ノ費用ハ自己ニ於テ之ヲ負擔スヘキハ固ヨリ當然ノ事項ナリトス
II 法律上他ノ者ニ負擔ヲ命ジ得ル場合(第三十七條乃至第四十條) 特別ノ事由ニ依リ又ハ特別
ノ必要ニ依リ管理者ニ於テ道路ニ關スル費用ノ全部又ハ一部ヲ他ノ者ニ負擔セシムル場合少
クモ五テナス今之ヲ列記スレバ左ノ如シ
(本) 道路ニ關スル工事ノ費用ヲ其ノ必要ヲ生セシメタル者ニ負擔セシムル場合(第三十七條)
他ノ工事又ハ行為ニ爲道路ニ關スル工事ノ必要ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ道路ニ關スル工
事ニ或ハ管理者自ラ之ヲ執行スルコトアルハ第二十二條ノ規定ニ依リ他ノ工事執行者
又ハ行為者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトアル等固ヨリ一定セサルモ其ノ何レノ場合タルヲ問
ハス管理者ハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ他ノ工事又ハ行為ニ付費用支出ノ義務ヲ有スル者ヲ
以テ負擔セシムヘキナリ但シ河川法第三十二條第三項ノ規定ニ於テハ河川工事ノ爲必要ヲ生
ジ得ル道路ニ關スル工事ノ費用ハ河川工事者ニ於テ之ヲ負擔セサルコトト爲セルヲ以テ本法

ト相牴觸スヘシ然ルニ苟モ本法カ道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ヲ特別ノ事由アル場合ニアラサレハ原則トシテ道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ負擔セシムル以上ハ河川工事ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ費用ハ河川工事ノ費用ヲ負擔スル者ニ於テ之ヲ負擔スルヲ至當トス依リテ河川法ハ道路法ニ一步ヲ讓リ河川法第三十二條第二項ノ規定ハ本法ニ依ル道路ニ之ヲ適用セサルコトトセリ

(ロ) 道路ニ關スル費用ヲ特別ノ事由アル場合ニ於テ下級公共團體又ハ私人ニ負擔セシムル場合(第三十八條)

第三十三條ノ規定ニ依リ特別ノ事由アル場合ニ於テ管理者タル行政廳ハ下級行政廳又ハ私人ヲシテ道路ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得ルモ必スシモ凡テノ場合ニ於テ下級公共團體又ハ私人ヲシテ其ノ費用ヲ負擔セシムヘキニアラスシテ更ニ特別ノ事由アル場合ニ於テノミ下級公共團體又ハ私人ヲシテ其ノ費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ヘシ蓋シ管理者ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ下級行政廳又ハ私人ニ對シ道路ノ修繕ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルヲ適當トスルコトアルヘキモ其ノ費用ノ負擔ハ更ニ一層特別ノ事由アルニアラスンハ之ヲ下級公共團體又ハ私人ニ命スヘキ理由ナキヲ以テナリ此ノ故ニ管理者ハ下級行政廳又ハ私人ニ道路ノ修繕ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ヲ命シタル場合ニ於テ更ニ是等ニ其ノ費用ノ負擔ヲ命セントセハ費用ノ負擔ヲ命スルニ付特別ノ事由アルコトヲ主張セサルヘカラス

(ハ) 道路ニ關スル工事ノ費用ヲ其ノ受益者ニ負擔セシムル場合(第三十九條)

既ニ述ヘタルカ如ク道路ニ關スル費用ハ原則トシテ道路ト最モ密接ナル利害關係ヲ有スル國又ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔ト爲スヘシト雖モ國又ハ公共團體以外ニ於

不特ニ一層道路ニ密接ノ利害關係有テ漸ク主權之責道路ニ關スル費用亦全部及ベ一
 部ヲ負擔セシムル固ク當然ノ事項タリ而シテ第三十九條ニ規定スル場合固クモ當即チ
 其ノ適例ト見ルベシト得ヘシ即チ道路ニ關スル工事因リ著シク利益ヲ受ク者又然キモ
 管理者ハ其ノ利益ヲ受ク者ヲ以テ其ノ利益ヲ相償シテ道路ニ關スル工事ノ費用又全部又
 擔セシムルコトヲ得ル得ルシテ歐米諸國ニ於テ市街道路ノ改良ニ要スル費用又全部又
 土地所有者ニ負擔セシムル制度又設クタルカ如キモ全部第三十九條ニ規定スル同費
 精神並出
 テタルモノナリ又我國ニ於テ全上級道路ノ新設改築ヲ爲スル當國地元下級團體
 地ヲ寄附セシムルノ慣行又存スル地方少ク然ラズ是等ノ方法モ亦第三十九條ノ規定ト其ノ精
 神又同文セルモノト見ルコトヲ得ヘシ

(二) 道路ニ關スル費用ノ一部ヲ特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者
 此ル場合(第四十條)ノ規定ニ依リテ道路ノ損傷ニ關スル費用又全部又負擔スル
 特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者アル場合ニ於テハ之カ爲屢々道路ノ破損ヲ
 生シ其ノ維持修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルモ其ノ費用ハ常ニ悉ク管理者タル行政廳ノ統轄スル
 公共團體ニ於テ負擔セラルベカラストモハ當該公共團體ハ遂ニ其ノ負擔ニ堪ル能ハス
 爲ニ益々道路ノ荒廢ヲ來シ爾般交通上ニ支障ヲ生スル虞カシトモ依リテ管理者ハ此種事
 業ノ經營者ニ對シ之カ爲ニ要スル道路ノ維持修繕ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルハ途チ設
 負擔ノ均衡上ヨリ云フモ道路ノ改良止リ云フモ極メテ緊要ノ事項タラズ然レハ道路
 損傷スル事業ヲ經營スル者ニ對シ道路ニ關スル費用ノ特別負擔ヲ爲サザルニテ佛國
 道路法ニ共ニ獨逸各州ノ道路法並風ニ採用スル其ノ實效ヲ收メタリ然レモ亦之ヲ
 産業補助ノ制度ト稱シ即チ鑛山業石坑業森林業其ノ他之ヲ標準トシテ事業業ヲ爲道路
 損傷スル

場合ニ於テハ其ノ修繕ノ費用ニ充ツル爲市町村道ノ管理者ニ限り事業ヲ經營スル者ニ對シ特別ノ負擔ヲ命スルコトヲ得シム而シテ是等各國ノ立法例ニ於テハ費用ノ負擔ヲ命シ得ルハ市町村道ノ管理者ニ限り又其ノ特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ノ種類ハ之ヲ法律ニ列記セリト雖モ本法ニ於テハ別ニ事業ノ種類ヲ限定セス又負擔ヲ命シ得ヘキ道路ノ種類ヲ限定セスシテ總テ一般的ニ之ヲ適用スルコトヲ得シメタリ故ニ一定ノ區間ヲ往復スル乗合自動車營業ヲ爲ス者アル爲著シク國縣道ノ路面ヲ損傷スルノ事實アル場合ニ於テハ第三十九條ノ規定ヲ適用シ乗合自動車營業者ヲシテ之カ爲ニ要スル道路ノ維持又ハ修繕ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得ヘシ

二 附帶工事ノ費用負擔方法(第四十一條)

道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ノ負擔トスルヲ原則トセルモ特別ノ事由アル場合ニ於テハ他ノ工事ニ付費用支出ノ義務ヲ有スル者ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルノ例外ヲモ認ム

1 附帶工事費ヲ道路ニ關スル工事ノ費用負擔者ニ負擔セシムル場合

道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ道路ニ關スル工事ノ費用ニアラサルヲ以テ第四十一條ノ規定ニ依リ其ノ負擔ノ所屬ヲ定ム而シテ道路ノ附帶工事ノ費用ハ道路工事ノ費用ヲ負擔スル者ニ於テ之ヲ負擔スルヲ原則ト爲シタル所以ノモノハ其ノ道路工事ナカリセハ他ノ工事ノ必要ヲ生セサルヘカリシ場合ニ於テハ其ノ他ノ工事ノ費用ハ之ヲ道路工事ノ費用負擔者ノ負擔ト爲スヲ相當トスヘケレハナリ而シテ第三十三條第二項但書ノ規定ニ該當スル道路ノ附帶工事ノ費用負擔ノ方法ニ付テハ先ツ同條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ノ負擔方法ヲ決定シタル後其ノ負擔歩合ニ應シテ他ノ工事ノ費用ヲモ負擔スルノ方法ヲ採ルヘ

第三十四條ノ規定ニ該當スル道路ノ附帶工事ノ費用負擔ノ方法ニ付テモ亦之ニ同シ河川法第三十二條第一項ノ規定ニ依レハ河川ニ關スル工事ニシテ道路ニ關スル工事ニ因リ必要ヲ生シタルモノナラズキハ其ノ工事ノ費用ハ河川工事ノ必要ヲ生シタル程度ニ於テ其ノ原因タル道路工事ノ費用負擔者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得ヘキモ本法第四十一條ノ規定ニ於テ道路ノ附帶工事ノ費用ハ原則トシテ必ス道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシメ只例外トシテ特別ノ事由アル場合ニ於テハ河川ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ以テ河川法ト本法トハ互ニ相抵觸ス依リテ河川法ニ道路法ニ二步ヲ讓ルコトトシ河川法第三十二條第一項ノ規定ハ本法ニ依ル道路ニ之ヲ適用セス砂防法第十六條ノ規定ニ適用ニ付テモ亦之下同ニザルヲ以テ砂防法モ亦本法ニ二步ヲ讓リ砂防法第十六條ノ規定ハ本法ノ規定ニ依ル道路ニ之ヲ適用セス

2 特別ノ事由アル場合ニ於テ附帶工事ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ附帶工事費ノ負擔者ニ負擔セシムル場合

特別ノ事由アル場合ニ於テハ管理者ハ道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ニ之ヲ道路ニ關スル工事ノ費用負擔者ニ負擔セシメシテ他ノ工事ノ費用負擔者ニ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトトシ道路ノ附帶工事ノ費用負擔ノ原則ニ例外ヲ設ケタリ第四十一條ノ規定ニ於テ特別ノ事由アル場合トハ例ヘハ豫メ道路ノ附帶工事ノ費用ハ附帶工事ノ管理者ニ於テ之ヲ負擔スヘキコトヲ條件トシテ道路ノ占用ヲ爲セル場合ノ如キ原因タル道路工事ニシトスルモ道路ノ附帶工事タル他ノ工事ヲ爲スノ必要アル場合ノ如キ道路ノ附帶工事ノ管理者其ノ程度ヲ超過シテ附帶工事ヲ執行シタル場合ノ如キ又ハ道路管理者ノ執行シタル附帶工事ニ依リ附帶工事ノ管理者ニ於テ著シク利益ヲ得タル場合ノ如キヲ指稱ス而シテ其ノ適

用ニ當リテハ道路管理者ハ各場合ニ應シテ特別ノ事由ノ如何ニ依リ又其ノ工事ノ程度ノ如何ニ依ル等各種ノ事情ヲ考量シテ道路ノ工事ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ附帶工事ノ管理者ニ負擔セシムヘキヤ否ヤヲ決定セサルヘカラス附帶工事施行ノ程度ハ多少ノ改良工事ハ固ヨリ之ヲ認ムルノ必要アルハ勿論ナリト雖モ原則トシテハ其ノ原狀ニ止ムルヲ標準ト爲スヘキモノトス

三 義務履行ノ費用負擔方法(第四十二條)

本法又本法ニ基キ發スル命令又ハ之ニ依リ爲ス處分ニ依リ負擔セシメラレタル義務ヲ履行スル爲必要ナル費用ノ負擔所屬ハ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ義務者ノ負擔トス蓋シ命セラレタル義務ヲ履行スル爲必要ナル費用ノ支出ハ當然其ノ義務ノ内容ヲ爲スモノナルカ故ニ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外ハ之ヲ義務者ノ負擔トスヘキハ別ニ明文ヲ要セサルカ如キモ道路ニ關スル費用負擔ノ原則ハ第三十三條ニ之ヲ規定セルカ故ニ義務履行ノ費用ノ負擔ハ此ノ原則ニ對スル例外タルヘキコトヲ明ラカニスルニアラスンハ或ハ第四十二條ニ規定スル費用モ亦道路ニ關スル費用ナルカ故ニ第三十三條ノ規定ノ適用アルカ如ク解釋セラルルノ虞ナシトセス依リテ特ニ第四十二條ノ規定ヲ設ケ茲ニ其ノ趣旨ヲ明ラカニセリ法令ニ別段ノ規定アル場合トハ第二十一條ト第三十四條第二十二條ト第三十七條第二十二條ト第三十八條等ノ適用上ニ於テ第四十二條ノ原則ノ例外ヲ生スルコトアルヘキヲ指稱セルナリ

四 負擔金ノ收納方法(第四十三條)

道路ハ總テ管理者タル行政廳之ヲ管理セルカ故ニ道路ノ費用ノ負擔金及第四十一條ノ規定ニ依ル道路ノ附帶工事費ノ負擔金ハ特ニ規定ヲ設クルニアラサレハ之ヲ國庫又ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ニ收入スルコトヲ得ス依リテ第四十三條ノ規定ヲ設ケ道路ニ關スル

費用之負擔蓋入費用負擔者自認道路關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲スル事其
 工事執行者於テ直接其費用ヲ任拂致シ以テ別ニ國庫及公共團體ニ之ヲ收込以テ方法
 自講セシメ必要時ニテ費用又負擔者ニ工事ヲ執行者ト互ニ相異ル場合等於テハ其費用之負
 擔金ハ第三條第三項三條第三項之國道之新設又改築要路等ノ國庫ニ其ノ他ニ至ラハ管
 理者及行政廳ヲ統轄スル公共團體ニ收込然レ後ニ於テ國庫及公共團體ハ必要ニ應シ之
 任仕拂フニキテ後トス而シテ費用負擔者公共團體ニシテ其ノ工事ノ執行者之ヲ統轄スル行政
 廳及行政廳タル管理者統轄場合ニ於テハ費用負擔者及工事執行者等ニ形式互ニ相異シ
 六 物如キ時實價上ニ於テ後者以前者ヲ統轄機關ナルカ故ニ之ヲ同一體ト見做シテ費用負擔者
 及第四十一條之規定ニ依テ道路工事ヲ附帶スル他項工事之費用ハ負擔金之收入方法ニ付テモ
 費用負擔者自認工事ヲ執行スルニ別ニ國庫及公共團體ニ送ラ收込スル辦法ヲ講スル
 必要時ニテ費用負擔者自認工事ヲ執行セラル場合ニ於テハ道路關スル費用ハ負擔金同
 第三條第三項ノ規定ニ依テ第三項及第四十三條第三項之規定ヲ設ケ第四十
 三條第三項ノ規定ニ依テ第三項及第四十三條第三項之費用ヲ負擔者公共團體ニ送テ之ヲ統轄
 各ル行政廳及行政廳タル管理者及工事執行者主務場合ニ於テハ既ニ述テタル如ク之ヲ同
 一體ト見做シ費用負擔者及其ノ工事ヲ執行スル時同體ニ取扱又爲スル事トシ道路關スル費
 用ヲ負擔金收込場合同ニテ之ヲ以テ此ニ場合ニ於テハ第四十三條第三項之規定ヲ設ケ第四十
 三條第三項ノ規定ニ依テ第三項及第四十三條第三項之費用ヲ負擔者公共團體ニ送テ之ヲ統轄
 五 道路自生スル收益ノ歸屬權及第四十三條ニ於テハ其ノ他ノ事項ニ關シテハ其ノ他ノ規定ハ
 道路ノ占用料及ノ他道路ノ自生收益收込本法ニ於テハ原則上ニ於テ道路ノ費用ヲ負擔スル管

理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入ト爲シ以テ利益ハ損失ノ歸スル所ニ歸スルノ主義ヲ明ラカニセリ而シテ第二十六條ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ得テ徵收スル橋錢又ハ渡錢ハ許可又ハ承認ヲ得タル者ノ收入トスルノ例外規定ヲ認メタルハ賃取橋又ハ賃取渡船場設置ノ許可又ハ承認ヲ經タル者ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ橋梁又ハ渡船場ノ維持及修繕ヲ爲スノ義務ヲ有シ其ノ爲ニ要スル費用ハ第三十六條ノ規定ニ依リ其ノ負擔トセルヲ以テ此ノ場合ニ於テモ亦利益ハ損失ノ歸スル所ニ歸スルノ主義ヲ貫クカ爲第四十四條ニ但書ノ規定ヲ設ケタリ現在ニ於テモ明治二十四年内務省訓令第四六二號ハ第四十四條ト同一ノ主義ヲ採リ地盤官有ニ屬スル道路並木敷ノ使用料及道路ニ屬スル竹木其ノ他ノ收益ハ其ノ費用ヲ負擔スル府縣及市町村ノ收入ニ屬スヘキコトヲ規定セリ道路ヨリ生スル收益ト稱スルハ道路ノ管理ニ依リ生スル收益ナラサルハカラス故ニ道路ノ占用料ハ勿論管理者ノ徵收スル橋錢渡錢道路敷及並木等ヨリ生スル果實賣却代金障礙枯損ノ竹木賣却代金ノ如キ皆之ニ包含セラルヘキモ廢道後ニ於ケル道路敷ノ賣却代金ハ第四十四條ニ所謂道路ヨリ生スル收益ニ在ラズ

六 沿道土地ノ甘受スヘキ義務(第四十五條第四十七條乃至第四十九條)

道路ニ沿ヘル一定區域ノ地帶ハ之ヲ沿道ノ區域トシ道路保護及交通保全ノ爲各種ノ義務ヲ負擔セシム之ヲ列記スレハ左ノ如シ

1 道路工事ノ爲ニスル管理者ノ立入又ハ使用ヲ甘受スヘキ義務(第四十五條)

道路ニ關スル工事ノ爲沿道ノ土地ニ立入又ハ之ヲ一時材料置場トシテ使用スルノ必要アル場合ニ於テ一々土地ノ所有者又ハ占有者ノ承諾ヲ必要トスルニ於テハ事業執行上支障少ナカラサルカ故ニ第四十五條ノ規定ニ依リ管理者ハ土地ノ所有者又ハ占有者ノ意思ノ如何ニ拘ラス其ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ一時材料置場トシテ使用スルコトヲ得ルコトトナシタルヲ以テ沿

道ノ土地ハ第四十五條ノ規定ニ依リ管理者ノ立入又ハ使用ヲ當然甘受スルノ義務ヲ負擔セルモノトス然レトモ第四十五條ノ規定ハ極メテ管理者ノ權限ヲ制限シ道路ニ關スル工事ノ爲沿道ノ土地ニ立入又ハ之ヲ一時材料置場トシテ使用スル場合ニ限定セルヲ以テ其ハ範圍ヲ超ユル土地ノ立入又ハ使用ハ總テ土地收用法ニ依ルヘキモノトシテ故ニ專業準備ノ爲他人ノ土地ヲ測量シ又ハ他人ノ土地ニ測量標ヲ立ツル場合ノ如キハ本法ノ規定ニ依ラス土地收用法ノ規定ニ依ルヘキモノトス而シテ第四十五條ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ニ依リ現ニ損害ヲ生シタルトキハ其ノ立入又ハ使用ノ後三月内ニ管理者之ヲ補償スヘシ其ノ補償ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

2

道路ニ及ホスヘキ損害豫防ノ施設ヲ爲スヘキ義務(第四十八條)
沿道ノ土地竹木又ハ工作物ニシテ道路ニ損害ヲ及ホスヘキ虞アル場合ニ於テハ道路保護ノ必要上是等沿道ノ竹木又ハ工作物ノ管理者ハ其ノ土地竹木又ハ工作物ノ道路ニ及ホス損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲シ以テ道路ノ保護ト交通ノ保全トヲ期セサルヘカラス是レ第四十八條ノ規定カ沿道ノ土地竹木又ハ工作物ノ管理者ニ對シ道路ニ及ホスヘキ損害ヲ豫防スルノ施設ヲ爲スヘキ義務ヲ命シタル所以ナリ而シテ其ノ施設ニ要スル費用ハ第四十二條ノ規定ニ依リ義務者ノ負擔ニ屬ス私人ニシテ故意ニ本條ノ義務ニ違反スルトキハ刑罰ノ制裁ヲ受ケサルヘカラス

3

工作物ノ建設其ノ他ノ制限ヲ甘受スヘキ義務(第四十九條)
道路保護及交通保全ノ必要上沿道ノ土地竹木又ハ工作物ノ道路ニ損害ヲ及ホスヘキ虞アルトキハ之ヲ豫防スル爲其ノ管理者ニ必要ナル施設ヲ命シ得ヘキコトハ既ニ第四十八條ノ規定ニ付説明セルカ如シト雖モ是等カ損害ヲ生スルノ虞アルニ及ヒテ初メテ豫防上施設ヲ命スルハ

時既ニ遅キノ憾アルヲ以テ豫メ沿道ノ土地ニ對シテハ道路ノ保護又ハ交通ノ安全ヲ期スルカ爲工作物ノ建設其ノ他ノ行爲又ハ不行爲ノ制限ヲ規定シテ其ノ目的ノ達成ヲ期スルハ極メテ緊要ノ事項ナルヲ以テ本法ハ第四十九條ノ規定ニ依リ之ヲ命令ニ委任セリ依リテ沿道ノ土地ハ其ノ命令制定ノ後ニ於テハ其ノ規定ニ依ル制限ヲ甘受スルノ義務ヲ有スヘシ

七 非常災害ノ爲必要アル場合ニ甘受スヘキ義務(第四十六條)

非常災害ニ因ル道路ノ保護復舊等ノ爲必要アルトキハ管理者ハ道路附近ニ居住スル者ヲ使役シ道路附近ノ土地ヲ一時使用シ又ハ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用又ハ收用スルノ權限ヲ有ス第四十六條ノ規定ハ第四十五條ノ規定ト異リ非常災害ノ爲必要アル場合ナルヲ以テ管理者ニ極メテ廣汎ナル權限ヲ附與セリ而シテ道路附近ナル用語ニ付テハ本法ニ何等明示スル所ナキヲ以テ其ノ範圍ハ一般的社會觀念ニ依リテ之ヲ定ムルノ外ナシ管理者ノ爲ス人ノ使役又ハ土地ノ使用ハ道路附近ニ居住又ハ存在スルモノニ限定セリト雖モ土石竹木其ノ他ノ物品ノ使用又ハ收用ハ必スシモ道路附近ニ存在スルモノナルコトヲ必要トセス使役使用又ハ收用ノ爲現ニ損害ヲ生シタルトキハ使役使用又ハ收用ノ後三月内ニ管理者之ヲ補償スヘシ其ノ補償ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得正當ナル事由ナクシテ第四十六條ノ規定ニ依ル管理者ノ命ニ從ハサルトキハ刑罰ノ制裁ヲ受ケサルヘカラス

八 道路警察ニ關スル規定(第四十九條)

道路ハ一般交通ノ用ニ供スル設備ナルヲ以テ各々地方交通ノ狀況ニ應シ其ノ新設改築維持及修繕ヲ適當ナラシメ以テ實際社會ノ必要ニ適合セサルヘカラスト雖モ一般的ニ其ノ交通ヲ安全ニシ其ノ使用方法ヲ合理的ナラシムルニアラスンハ道路ハ決シテ其ノ效用ヲ發揮スルコト能ハサルヘシ如何ニ財力ヲ盡シ技術ヲ究メテ道路ノ構造ヲ改良シ其ノ幅員ヲ擴張シ歩道及車

道ノ區別ヲ設クルトスルモ道路交通ノ取締ニシテ其ノ周到ヲ期スルニ非スンハ遂ニ道路構造ノ改良モ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルヘシ之レ道路行政上道路警察ノ極メテ緊要ナル所以ナリ然ルニ我國現在ニ於ケル道路警察權ノ基本法令タル道路取締規則ハ府縣令ヲ以テ之ヲ規定スルカ故ニ各地其ノ規定ノ内容ヲ異ニシ爲ニ全國ニ於ケル道路警察ハ動モスレハ其ノ統一ヲ缺キ實際上ノ不便少ナカラサルモノアリ依リテ曩ニ内務省令ヲ以テ全國ニ於ケル自動車取締ノ規則ヲ統一シタルト同シク道路取締規則モ全國ニ共通スヘキ事項ハ省令ヲ以テ之ヲ統一シ各地特有ノ事項ハ之ヲ府縣令ニ規定セシムルヲ適當トス第四十九條ニ於テ道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ヲ命令ニ委任セルハ全ク此ノ趣旨ニ外ナラサルナリ既ニ述ヘタルカ如ク道路ノ保護及交通保全ノ爲沿道ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ヲ爲スノ必要アルヲ以テ是等ノ事項モ亦同シク命令ヲ以テ之ヲ制定セントス是等命令制定ノ曉ニ於テハ沿道ノ土地ニ居住スル者ハ一般公衆モ道路保護及交通保全ノ爲種々ノ制限ヲ受クルニ至ルヘシ

第五章 監督及罰則

我國道路ノ制度ノ極メテ不備ナルコトニ關シテハ既ニ屢々説明シタル所ノ如シ而シテ殊ニ其ノ不備ナルハ道路行政ノ監督ニ關スル事項ニシテ之カ爲動モスレハ道路ニ對スル監督ハ其ノ鋭敏ヲ缺クカ如キ虞ナシトセス依リテ本法ニ於テハ特ニ詳密ナル監督規定ヲ設ケテ道路監督ノ權限ヲ確立シ且監督官廳ノ組織ヲ統一シ認可事項ヲ規定シテ事前ノ監督ヲ勵行シ(第五十二條)又府縣知事郡長市長及町村長カ道路ニ關シ爲シタル處分ニ對シ其ノ監督官廳ニ於テ爲ス變更廢止及取消ニ付テハ之ヲ現在ノ如ク一般行政法上ノ原則ニ委ネスシテ特別ノ規定ヲ設ケテ事後ノ監督ヲ

722

行ハントス(第五十三條)而シテ管理者ノ許可承認ヲ得テ道路ヲ占用スル場合又ハ其ノ許可承認ノ條件ニ違反シ若ハ許可承認ヲ得スシテ道路ヲ占用スル場合ニ於ケル其ノ許可承認ノ取消又ハ地上物件ノ撤去ニ關シテハ大正三年法律第三十七號ノ規定アリト雖モ尙完全ヲ期シ難キヲ以テ本法ニ於テハ之ニ關スル詳細ノ規定ヲ設ケタリ(第五十條乃至第五十四條)本法ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル費用ノ徵收ニ付テハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ニ強制徵收スルコトヲ得(第五十五條)又道路ノ保護及交通ノ保全ノ爲本法ニ違反スル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ刑罰ノ制裁ヲ加ヘ(第五十六條)刑法警察犯處罰令及本法第四十九條ノ規定ニ依リ制定スヘキ道路取締規則等ト相俟テ其ノ目的ヲ達成センコトヲ期ス

一 道路保全ノ爲ニスル非常管理(第五十一條)

內務大臣及管理者ハ道路保全ノ爲極メテ廣汎ナル權限ヲ有シ必要ナル場合ニ於テハ自由ニ其ノ權限ヲ行使スルコトヲ得而シテ此ノ種ノ權限ハ第十七條乃至第三十二條ニ規定セル道路ノ普通管理權ト異リ非常特別ノ場合ニ處スヘキモノナルカ故ニ之ヲ普通管理權ト區別スルカ爲非常管理權ト稱スルモ不可ナシ

1 管理者ノ爲ス非常管理(第五十一條第一項)

道路ニ關スル法令ノ規定ニ違反シタルトキ道路ニ關スル法令ノ規定ニ依ル許可承認ノ條件ニ違反シタルトキ詐欺ノ手段ヲ以テ道路ニ關スル法令ノ規定ニ依ル許可ヲ得タルトキ道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキ及公益上必要アルトキ等ニ於テハ管理者ハ本法又ハ本法ニ基キ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シタル許可承認ヲ取消シ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更スルコトヲ得又許可承認ヲ得タルモノナルト否トヲ問ハス道路ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築除却セシメ若ハ之ニ因リ生スヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ原狀回復

ヲ爲サシムルコトヲ得而シテ管理者公益上必要アルカ爲非常管理權ヲ行使シタル場合ニ於テ損害ヲ受ケタル者アルトキハ道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ補償ハ管理者ノ認定ニ依リ之ヲ決定シ損害ヲ受ケタル者ニ損害賠償ノ請求權ヲ與ヘス蓋シ損害ヲ受ケタル者ニ其ノ請求權ヲ與ヘサリシ所以ハ第四十七條ト異リ其ノ補償金ハ單ニ慰藉金ノ性質ヲ有スルモノニ過キサレハナリ

2 内務大臣ノ爲ス非常管理(第五十一條第二項)

第二十九條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ許可又ハ承認シタル道路ノ占用ニシテ第五十一條第一項ノ各號ニ該當スルニ至リタルトキ管理者自カラ其ノ許可承認ヲ取消シ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更スルハ第二十九條ノ規定ヲ設ケタル趣旨ニ鑑ミテ穩當ナラサルカ故ニ第五十二條第二項ニ於テハ此ノ場合ニ於ケル非常管理ノ權限ヲ内務大臣ノ職權ニ屬セシメタリ只本法ニ於テハ第二十九條ノ規定ニ依リ内務大臣カ道路ノ占用ヲ許可承認シタル場合ト雖モ第五十一條第一項ノ各號ニ該當スルニ至リタルトキハ占用ノ許可承認ヲ取消サスシテ道路ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築除却セシメ又ハ之ニ因リ生スヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ原狀回復ヲ爲サシムルコトヲ得ルノ權限ヲ管理者ノ職權ニ屬セシメタルカ故ニ管理者カ此ノ非常管理權ヲ行使スルニ當リテハ第五十一條第二項ニ於テ第二十九條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ爲シタル道路ノ占用ノ許可承認ノ取消其ノ他ノ處分ハ之ヲ内務大臣ノ職權ニ屬セシメタルノ趣旨ニ鑑ミテ内務大臣ノ爲シタル道路ノ占用ノ許可承認ノ效力ヲ妨ケサル限度ニ於テ之ヲ爲スニ止メサルヘカラス

二道路管理者ニ對スル監督(第五十二條及第五十三條)

本法ノ規定ニ依ル監督官廳ハ全ク道路ニ關スル特別ノ監督官廳ナルヲ以テ其ノ系統及組織ニ

付テハ更ニ施行勅令ヲ以テ之ヲ規定セントス而シテ道路管理者監督ノ方法ニ付テハ認可ノ方法ニ依ル事前監督ト取消其ノ他ノ處分方法ニ依ル事後監督トヲ併セ採用セリ

1 認可ノ方法ニ依ル監督(第五十二條)

一定ノ事項又ハ其ノ變更廢止若ハ取消ハ行政廳又ハ管理者ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受ケサルヘカラス但内務大臣ハ別ニ命令ノ定ムル所ニ依リ輕易ナル事件ニ限り認可ヲ省略スルコトヲ得第五十二條ニ於テ認可ヲ受クヘキ者ヲ行政廳及管理ニ區別シテ之ヲ規定セルハ道路ノ路線ノ認定手續ヲ完了スル以前ニ於テハ未タ道路ノ管理者ナル者ナキヲ以テ道路ノ路線ノ認定ニ限り認可ヲ爲スヘキ行政廳ニ於テ認可ヲ受クルコトト爲シタルナリ

2 取消其ノ他ノ處分ノ方法ニ依ル監督(第五十三條)

第五十三條ハ管理者ニ對スル監督官廳ノ重要ナル權限ヲ規定セリ既ニ說明セルカ如ク現在ニ於ケル道路行政ノ監督ハ之ヲ一般行政ノ監督ニ委ネツアルモ其ノ權限確立サセルカ爲動モスレハ其ノ鋭敏ヲ缺キ道路整備改善上ノ一障害タルカ故ニ此ノ弊ヲ救濟セントシテ特ニ第五十三條ノ規定ヲ設ク監督官廳ハ監督上必要ト認ムルトキハ第五十三條ノ行政廳又ハ管理者ニ對シ如何ナル命令ヲモ發シ又處分ヲモ爲スコトヲ得ヘク第五十三條ニ列記セル事項ノ如キハ單ニ其ノ例示ヲ爲シタルニ過キス第五十三條ノ規定ニ依ル命令トハ法規命令ヲ云ヒ處分命令ハ同條ノ處分中ニ之ヲ包含ス監督ノ權限ニ基キ訓令ヲ發シ得ルハ固ヨリ當然ノ事項ニシテ別ニ規定ヲ必要トセス而シテ上級監督官廳カ下級監督官廳ニ對シ其ノ處分ノ變更廢止若ハ取消ヲ命シ其ノ他必要ナル指揮命令ヲ爲シ得ルハ是レ一般官制ノ定ムル所ナルヲ以テ亦別ニ規定ヲ必要トセス

三 行政上ニ於ケル強制執行(第五十四條及第五十五條)

本法若ハ本法ニ基キ發スル命令又ハ之ニ依リ爲ス處分ニ依リ私人ノ遵守スヘキ義務ヲ履行セサル場合ニ於テハ管理者之ヲ強制シ得ルノ方法ヲ設ケサルヘカラス其ノ履行ヲ強制スヘキ義務ノ種類ニ依リ其ノ強制方法ヲ分チテ二トス

1 私人ノ行フヘキ作爲又ハ不作爲ノ強制執行(第五十四條)

本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リ爲ス私人ノ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ管理者カ強制スル場合ニ於テハ行政執行法第五條及第六條ノ規定並ニ之ニ基キ發スル命令ヲ準用ス作爲又ハ不作爲強制ノ爲行政執行法ヲ準用スルハ私人ノ場合ニ限ルコト論ナシ蓋シ行政廳ニ付テハ系統的監督作用ニ依リ其ノ目的ヲ達シ得ヘク公共團體ニ付テハ地方制度ニ依ル監督ノ作用ニ依リ其ノ目的ヲ達シ得ヘケレハナリ府縣知事及郡長ノ如キ國ノ行政官廳カ道路管理者タル場合ニ於テハ行政執行法ノ適用アルハ固ヨリ疑ナキ所ナルモ市長及町村長カ道路管理者タル場合ニ於テハ之ヲ行政執行法ニ所謂行政官廳ト云ヒ得ルヤ否ヤハ疑ノ存スル所ナルヲ以テ念ノ爲特ニ本法中ニ行政執行法ヲ準用スルノ規定ヲ設ケタリ其ノ執行ニ關スル費用執行ニ依リテ得ヘキ徵收金及過料ノ負擔並歸屬ハ行政執行法並之ニ基キ發スル命令ノ規定ニ依リ定メラル

2 私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ノ強制徵收(第五十五條)

本法若ハ本法ニ基キ發スル命令又ハ之ニ依リ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金使用料橋錢渡錢其ノ他ノ費用ヲ支拂ハサルトキハ管理者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ強制徵收スルコトヲ得而シテ其ノ徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時效ニ付テハ之ヲ徵收スル管理者ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ト同一ノ取扱ヲ爲サンカ爲第五十五條第二項ノ規定ヲ設ケタリ第五十五條ノ規定ニ於テハ管理者ハ單ニ費用徵收ノ機關タルカ故ニ苟クモ私人ノ義

務ニ屬スル費用ナル以上ハ國庫又ハ公共團體ノ收入ニ屬スルモノナルト他ノ私人ノ收入ニ屬スヘキモノナルトヲ問ハス之ヲ強制徵收スルコトヲ得而シテ第五十五條ノ規定モ亦強制徵收ヲ爲シ得ヘキ場合ヲ私人ノ負擔ニ屬スル費用ノ徵收ニ限定スヘキハ論ナキ所ニシテ行政官廳又ハ公共團體ノ負擔スル費用ノ徵收ニ關シテハ第五十四條ノ場合ト同シク系統的ノ監督作用ニ依リ其ノ強制ノ目的ヲ達シ得ヘキヲ以テ別ニ第五十五條ノ規定ニ依ルノ必要是ナキナリ

四罰則(第五十六條)

道路ニ關スル犯罪ハ既ニ刑法警察犯處罰令並ニ道路取締規則中ニ規定セラル而シテ本法ニ於テハ第五十六條ニ道路ニ關スル犯罪ヲ規定セリ即チ私人第五十六條ノ規定ニ列記セル各號ノ一ニ該當スルトキハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラル本法ノ罰則ハ營業罰ヲ規定セルニ非ラスシテ行爲罰ヲ規定セルモノナルカ故ニ其ノ行爲ヲ爲シタル者ヲ處罰ス私人ノ使用人ニシテ第五十六條ニ規定セル犯罪行爲ヲ爲ストキハ其ノ使用人ヲ處罰ス是レ本法ニ法人處罰ノ規定ヲ設ケサリシ所以ナリ

第六章 訴願及訴訟

道路ニ關スル訴願及訴訟ニ付テハ本法中ニ之ニ關スル特例ヲ設ケ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付内務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴ヲ許シ(第五十八條)内務大臣ニ訴願スルコトヲ許サス(第五十七條第二項)而シテ本法又ハ本法ニ基キ發スル命令ニ規定スル事項ニ付内務大臣又ハ管理者ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得(第五十七條第二項)又第四十七條ノ規定ニ依ル損害ノ補償ニ付テハ補償金額ノ爭ニ限ラス悉ク通常裁判所ニ出訴スルコトヲ許スト同時ニ訴願又ハ行政

訴訟ヲ許サス(第五十九條)

一 行政訴訟願(第五十七條)

本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付内務大臣又ハ管理者ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴訟願ヲ爲スコトヲ得而シテ第五十七條ノ規定ハ訴訟願法ノ特別規定ナルヲ以テ道路ニ關シテハ同條ニ規程セル事項ノ外訴訟願スルコトヲ得サルモノトス然レトモ之ヲ現在ノ規定ニ比スレハ道路ニ關シテハ訴訟願ノ範圍ハ著シク擴張セラレタルヲ以テ是ニ依リテ私人ノ權利利益ハ充分ナル保護ヲ受クルコトヲ得ヘキナリ第五十七條ニ於テ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴訟願スルコトヲ許ササル所以ノモノハ行政裁判所ノ判決ト内務大臣ノ訴訟願ノ裁決トカ相重複スルコトヲ回避センカ爲メニ外ナラス

二 行政訴訟(第五十八條)

本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付内務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得第五十八條ノ規定モ亦行政訴訟ノ特別規定ナルヲ以テ道路ニ關シテハ同條ニ規定シタル事項ノ外ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス道路ノ路線ノ認定ニ關シテハ權利毀損ノ事實ヲ生セサルヲ以テ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス而シテ内務大臣カ爲ス國道ノ路線ノ認定ニ付テハ内務大臣ノ爲シタル認定ハ處分ナルカ故ニ形式上ヨリ云ヘハ利益ノ侵害ヲ理由トシテ訴訟願ヲ提起シ得ヘキカ如キモ他ノ行政廳ノ道路ノ路線ノ認定ニ付テハ本法ハ管理者タル行政廳ノ處分ニ因ル場合ノミヲ規定シ單ニ行政廳ノ處分ニ因ル場合ヲ規定セサルカ故ニ訴訟願ヲ許スノ規定ナシ今是等ノ諸點ヲ案スルトキハ本法立案ノ趣旨ハ道路ノ路線ノ認定ニ付テハ訴訟願及訴訟ヲ爲スコトヲ許ササルモノト解釋スルヲ至當トス

三 通常裁判(第五十九條)

第四十七條ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者立入使用使役又ハ收用ノ後三日内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ補償ニ不服アルトキハ通知後六月内ニ又立入使用使役又ハ收用ノ後三月内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケサル場合ニ於テハ其ノ期間經過後六月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得而シテ第五十九條ノ規定ハ既ニ一言セルカ如ク獨リ補償金額ノ争ノミナラス損害ノ有無ニ付キテモ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタルモノナルヲ以テ此ノ場合ニハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス同條ニ於テ特ニ通常裁判所ニ出訴スル期間ニ一定ノ限界ヲ設ケタルハ本件ノ如キ損害賠償ニ關スル争議ハ短期間ニ之ヲ決定セスンハ探證上種々ノ困難アルヲ以テ特ニ遅クトモ立入使用使役又ハ收用ノ事實アリタル後總計九月内ニ出訴スルニ非サレハ訴權ハ遂ニ消滅ニ歸スヘキコトヲ明カニセリ

第七章 雜則

本法ノ適用ニ關シ生スヘキ各種ノ問題ヲ決定スルノ必要アルカ爲本章ノ規定ヲ設ケタリ

一 北海道沖繩縣及島ニ關シ本法適用上ノ注意(第六十條)

二 北海道及沖繩縣ニ關スル道路ノ特別制度(第六十一條)

北海道ノ道路ニハ國道ヨリ町村道ニ至ルマテ拓殖費ヲ以テ之ヲ築造維持セルモノアリ北海道土功組合ニ於テ築造維持スル特殊ノ道路アリ又北海道ニハ郡制ヲ施行セサルカ故ニ郡ナル公共團體存在セサルヲ以テ郡道ノ制度ヲ認ムルコト能ハサルモ他ニ本法ニ認ムル以外ノ道路ノ種類ヲ認ムルノ必要ナシトセス依ツテ道路ノ種類等級及路線ノ認定ニ關シ特例ヲ設ケ得ルコトトセリ其ノ他道路ニ關スル費用ノ負擔方法道路ヨリ生スル收益ノ歸屬及監督官廳ノ組織等

ニ關シテモ特例ヲ設ケ得ルコトトセリ沖繩縣ニ於テモ亦郡制ヲ施行セサルカ故ニ郡ナル公共團體存在セサルヲ以テ郡道ノ制度ヲ認ムルコト能ハス依ツテ此點ニ關シ特例ヲ設ケ得ルコトトセリ

三 廢道其ノ他ニ因ル不用物件ノ管理及處分ノ方法(第六十二條)

本法ニ依ル道路ニシテ路線ノ認定ノ變更廢止其ノ他ノ場合ニ於テ不用ニ歸シタル道路敷及其ノ附屬物ヲ構成シタル物件ハ再ヒ之ヲ種類及等級ヲ異ニスル他ノ道路及其ノ附屬物ト爲スノ必要アル場合アリ其ノ必要ナキ場合ト雖モ其ノ管理及處分ノ方法ニ付テハ慎重ニ調査ヲ爲スノ必要アリ又工專用材料器具機械等ノ不用ニ歸シタル場合ニ於テモ其ノ管理及處分ノ方法ヲ定ムルノ必要アルヲ以テ是等ノ物件ノ管理及處分ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトトシテ第六十二條第一項ノ規定ヲ設ケタリ道路ノ路線ノ變更廢止其ノ他ノ場合ニ於テ不用ニ歸シタル道路及其ノ附屬物ヲ構成スル物件ハ前述ノ必要ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル必要ノ期間現狀ノ儘之ヲ存置シテ之ニ存在スル私權ノ行使ヲ停止シ又土地收用法第六十六條ノ規定ニ依リ買戻權ノ發生ヲ停止スルカ爲テ第六十三條第二項ノ規定ヲ設ケタリ蓋シ不用ニ歸シタル道路ニ第六條ノ私權ノ制限ニ關スル規定ヲ準用セサレハ將來再ヒ道路ト爲ス場合ニ種々ノ支障ヲ生スヘク又土地收用法第六十六條ノ規定ニ依リ買戻權ノ發生ヲ認ムルトキハ權利ノ移動ニ伴ヒ種々複雑ナル關係ヲ生スルノミナラス其ノ買戻權ノ行使ニ依リ賣却代金ノ處分ニ付テモ種々困難ナル問題ヲ生スヘキカ故ニ第六條ノ規定ヲ準用シテ私權ノ行使ヲ停止スルト同時ニ土地收用法ニ依リ買戻權ノ發生ヲ停止スルコトトナシタリ

四 本法ニ依リ變更セラルル法令(第六十三條)

1 明治四年布告(治水修路架橋等運輸ノ便ヲ與ス者ニ税金取立方許可ニ關スル件)

右ハ本法中ニ第二十六條第二十七條第三十六條及第四十四條但書ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

2 明治十一年達(郡區町村編制府縣會規則地方稅規則施行順序ニ關スル件第十二項)及明治十一年達(河港道路堤防橋梁費ヲ蓄積ニ因リ支辨シ得ル件)

右ハ本法中ニ第三十三條以下ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

3 陸地測量標條例第二條水路測量標條例第二條電信線電話線建設條例第一條第四條及第五條並ニ軍用電信法第四條第二項ノ規定ニ依リ準用スル電信線電話線建設條例第一條第四條及第五條

右ハ本法中ニ第二十八條第二項ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

4 河川法第十條第二項第十一條及第三十二條

右ハ本法中ニ第二十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲河川法第十條ハ第二十五條ノ規定ヲ設ケタルカ爲河川法第十一條第一項ノ規定ハ第二十二條ノ規定ヲ設ケタルカ爲河川法第十一條第二項ハ第四十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲河川法第三十二條第一項ハ第三十七條ノ規定ヲ設ケタルカ爲河川法第三十三條第二項ハ何レモ本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

5 砂防法第八條及第十六條

右ハ本法中ニ第二十五條ノ規定ヲ設ケタルカ爲砂防法第八條ハ第四十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲砂防法第十六條ハ本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

6 私設鐵道法第四十二條及輕便鐵道法第五條ノ規定ニ依リ準用スル私設鐵道法第四十二條右ハ本法中ニ第二十四條及第二十八條ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ

適用セス

7 電氣事業法第九條

右ハ本法中ニ第二十八條及第二十九條ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

8 大正三年法律第三七號(公共團體ノ管理スル公共用土地物件ノ使用違反ニ關スル法律)

右ハ本法中ニ第五十一條及第五十四條ノ規定ヲ設ケタルカ爲本法ノ規定ニ依ル道路ニハ之ヲ適用セス

附 則

本法施行ノ際本法ト從前ノ法令トノ關係及本法ト從前ノ處分トノ關係ヲ明ラカニセンカ爲附則ヲ設ケタリ

一 本法施行ノ期日(第六十四條)

本法施行ノ期日ハ勅令ノ規定ニ依リ大正九年四月一日ヨリ施行セラルルノ見込ナリ
 二 本法ニ依リ廢止セラルル法令(第六十五條)

1 明治五年第三二五號布告(道路掃除ニ關スル條目)

右ノ布告ハ本法中ニ第二十條及第三十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲之ヲ廢止ス

2 明治六年第一四六號布告(道路並木保護處分方)

右ノ布告ハ同シク本法中ニ第二十條及第三十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲之ヲ廢止ス

3 明治六年第四一三號達(道標建設ノ件)

右ノ達ハ本法施行令中ニ其ノ規定ヲ設ケタルカ爲之ヲ廢止ス

4 明治九年第六〇號達(道路ノ制)明治十八年第一號布達(國道ノ等級ヲ廢止シ其ノ幅員ヲ定ム)及明

治二十一年勅令第二八號(鎮守府ニ送スル道路ヲ國道ニ編入)

右ハ本法中ニ第十條乃至第十四條及第三十一條ノ規定ヲ設ケタルカ爲之ヲ廢止ス

三 本法施行前ノ處分及之ニ付シタル條件ノ效力(第六十六條)

従前ノ處分及之ニ付シタル條件ハ本法又ハ本法ニ基キ發スル命令ニ牴觸セサル限り其ノ效力ヲ存續セシムルノ趣旨ヲ以テ本法中ニ其ノ規定ヲ設ク第六十六條ノ規定ノ適用ニ關シ特ニ注意スヘキハ従前ヨリ存スル各種類ノ道路カ新ニ本法ノ規定ニ依リ其ノ路線ヲ行政廳ニ於テ認定シタルトキハ前管理者ノ爲シタル處分及之ニ付シタル條件ハ第六十六條ノ規定ニ依リ正當權限ヲ承繼スル新管理者ニ對抗スルコトヲ得ヘキコトナリトス

四 本法施行前ヨリ存スル許可事項又ハ承認事項ノ效力(第六十七條)

本法ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ受クヘキ事項ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法施行前既ニ舊管理者ノ許可承認ヲ經タルモノナルト舊管理者ノ許可承認ヲ得スシテ今日ニ至レルモノナルトヲ問ハス總テ本法ニ於テハ之ヲ救濟スルコトトシ第六十七條ノ規定ヲ設ケ是等ハ何レモ本法ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト見做セリ但シ必要アル場合ニ於テハ管理者ハ告示ヲ以テ一定ノ猶豫期間ヲ設ケ其ノ經過後ハ許可承認ノ效力ヲ失フモノト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ許可又ハ承認ノ效力ヲ繼續セシメントスル者ハ更ニ本法ノ規定ニ依リ管理者ノ許可承認ヲ求メサルヘカラス

五 本法施行前ノ訴願及訴訟ノ效力(第六十八條)

本法施行前ニ爲シタル處分ニ關スル訴願又ハ行政訴訟ハ直ニ之ヲ本法ニ依ラシムルコト能ハサルヲ以テ仍従前ノ例ニ依ラシムルコトトセリ

六 尙注意ノ爲ニ一言スレハ本法施行ノ際道路ノ新設改築ニ關シ土地收用法ノ適用中ニ在ルモノ

ナキニアラサルヘキモ行政廳カ本法ニ依リ道路ノ路線ノ認定ヲ爲ストキハ企業者タル舊管理
者ノ權利義務ハ土地收用法第三條ノ規定ニ依リ事業ト共ニ其人承繼人タル新管理者ニ移轉ス
ルヲ以テ本法中ニハ別ニ之カ爲經過規定ヲ設ケス

四 道路法ト他ノ法令トノ關係

道路ニ關スル規定ヲ包含セル各種ノ法令ニシテ道路法ト相許容スルモノアリ或ハ道路法ニ依リ
廢止變更セラレルモノアリ又道路法ノ特別法トシテ仍其ノ效力ヲ存續スヘキモノアリ今之ヲ列
記スレハ左ノ如シ

- 一 道路法ト相許容スヘキ法令
- 1 行政警察規則(明治八年達第二九號)
- 2 行政裁判法(明治二十三年法律第四八號)
- 3 訴願法(明治二十三年法律第一〇五號)
- 4 要塞地帶法(明治三十二年法律第一〇五號)
- 5 軍港要港規則(明治三十三年海軍省令第七號)
- 6 耕地整理法(明治三十二年法律第八二號)
- 7 運河法(大正二年法律第一六號)
- 8 土地收用法(明治三十三年法律第二九號)及土地收用法施行令(明治三十三年勅令第九九號)
- 9 鑛業法(明治三十八年法律第四五號)
- 10 森林法(明治四十年法律第四三號)
- 11 國有林野法(明治三十三年法律第八五號)
- 12 地租條例(明治十七年布告第七號)

- 13 狩獵法(明治三十四年法律第三三號)
 - 14 刑法(明治四十年法律第四五號)
 - 15 警察犯處罰令(明治四十一年內務省令第一一號)
 - 二 道路法ニ依リ廢止セラルル法令
 - 道路法第六十五條ニ之ヲ規定ス
 - 三 道路法ニ依リ變更セラルル法令
 - 道路法第六十三條ニ之ヲ規定ス
 - 四 道路法ノ特別法トシテ仍其ノ效力ヲ存續スヘキ法令
 - 1 東京市區改正條例(明治二十一年勅令第六二號)
 - 2 京都市大阪府其ノ他ノ市ノ市區改正ニ關スル件(大正七年法律第三六號)
 - 3 軌道條例(明治二十三年法律第七一號)
 - 4 郵便法(明治三十三年法律第五四號)
 - 5 電信法(明治三十三年法律第五七號)
 - 6 府縣災害土木費國庫補助ニ關スル法律(明治四十四年法律第一五號)
 - 7 災害土木費國庫補助規程(明治四十四年勅令第一九九號)
- 五 道路法施行後ニ於ケル道路改良ノ計劃** (道路法ノ現在道
路ニ及ボス影響)
- 一 既ニ述ヘタルカ如ク道路ノ資格ヲ明確ニシ且費用ノ負擔區分ヲ明瞭ナラシムルハ道路改良ノ根柢ナルカ故ニ道路法ニ於テハ道路ノ資格ハ時勢ノ要求ニ應シテ之ヲ規定シイ國道ハ多少現在資格ノ範圍ヲ擴張シ(口)府縣道ハ從來其ノ資格實際ノ必要ニ應スルニ足ラサリシカ爲道路ノ資格ト費用負擔ノ所屬區分トノ相適合セサル府縣費支辨里道ヲ生シ其ノ利弊相半スルノ狀

態ナリシヲ以テ是等ノ事情ヲ斟酌シ現在縣道ノ資格ヲ擴張シテ地方實際ノ必要ニ應スル府縣道ノ資格ヲ設クハ更ニ郡道ニ至リテハ府縣費支辨里道ト同シク從來公認ノ制度ニ非サリシモ實際ノ必要ハ制度ノ創設ニ先チ各府縣ニ於テ幾多ノ郡費支辨里道ヲ生スルニ至リシヲ以テ之ヲ公認ノ制度ト爲シ府縣道ニ準シ郡道ノ資格ヲ設ケタリニ又市町村ハ從來其ノ區域外ニ道路ヲ設クルコトヲ得サリシカ道路法ハ特ニ必要アル場合ニ於テハ地元市町村長ノ意見ヲ聞キ其ノ區域外ニ亘リテ道路ヲ設ケ得ルノ途ヲ開キホ又大都市内ノ道路ハ國道府縣道ヲ舉ケテ總テ之ヲ市長ノ管理ニ屬セシメ都市改良ノ計劃ニ適應セシメンコトヲ期シ相當ノ規定ヲ設ケタリ

二 今以上ニ述ヘタル道路法ニ規定セル道路ノ資格ヲ案シテ之ヲ現在ノ道路ト對照スルニ(イ)國道ハ現在延長約二千二百里ニシテ道路法ニ依ルモ幹線タル國道トシテハ大體ニ於テ増減ナキノ見込ナルモ新ニ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル道路ヲ國道トスルカ爲總延長ニ於テハ多少ノ増加ヲ來スヘシ(ロ)假定縣道ハ現在ノ延長約七千六百里ニシテ道路法ニ依ルトキハ府縣道トシテ約三百里ヲ増加ス可ク府縣費支辨里道ハ現在ノ延長約二千四百里ニシテ道路法ニ依ルトキハ府縣道トシテ約四百里ヲ減スルノ見込ナルヲ以テ道路法ニ依ル府縣道ノ總延長ハ約九千九百餘里トナルヘシハ(ハ)郡費支辨里道ハ現在ニ於テハ府縣ニ依リ又ハ同一府縣内ニ於テモ郡ニ依リ或ハ之ヲ認ムルモノアリ或ハ之ヲ認メサルモノアリテ全國一樣ナラサルモ其ノ總延長ハ現在ニ於テ約五千四百里ニ及ヘリ而シテ是等現在ノ郡費支辨里道ハ道路法ニ依リ郡道ニ認定セラルル場合ニ於テ相當整理セラレ其ノ延長ニ多少ノ異動ヲ生スヘキモ尙府縣又ハ郡ノ狀況ニ依リテハ新ニ郡道ヲ設クルモノアルヘキニ依リ相當ノ増加ヲ來スヘシ(ニ)市道及町村道ニ至リテハ町村道中府縣道又ハ郡道トナルヘキモノアルヘキモ大體ニ於テ其ノ延長ニハ甚シキ異動ナカルヘシ

三 道路法ノ規定カ現在道路ノ資格及其ノ延長ニ及ホス影響ハ以上ニ述ヘタルカ如シト雖モ道路ノ實質ノ改良ニ關シテハ更ニ顯著ナル進歩ヲ期待シツツアリ而シテ道路ノ資格ヲ明確ニシ更ニ費用負擔所屬ノ區分ヲ明瞭ナラシムルカ爲道路法中ニ相當ノ規定ヲ設ケタルコトハ既ニ述ヘタル所ノ如クナルカ之ニ依リテ必要ナル道路ニハ必要ナル費用ヲ支出スルコトトシ國道ハ從來ノ費用負擔方法ヲ變更シテ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他内務大臣ノ指定スル國道ノ新設改築ノ費用ハ國庫ノ負擔トシ其ノ他ノ國道ノ費用及府縣道以下ノ道路ノ費用ハ從來ノ如ク原則トシテ管理者ノ統轄スル公共團體ノ負擔トシ軍事國道及指定國道以外ノ國道ノ新設改築ノ費用ハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助スルコトトシ尙府縣道以下ノ道路ノ新設改築ノ費用ニ對シテモ亦必要アル場合ニ於テハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助スルノ途ヲ開キ且特別ノ事由アル場合ニ於テハ國又ハ他ノ公共團體若ハ私人ヨリ道路ニ關スル負擔金ヲ徵收スルコトヲ得シメ其ノ他道路ヨリ相當收入ヲ得ルノ途ヲ設ケテ之ヲ道路ノ費用ニ充當スルコトヲ得シメ以テ道路改良ノ資源ヲ涵養センコトヲ期セリ

四 道路管理ノ權限ヲ明確ナラシメ且道路管理ノ爲必要ナル吏員ヲ置キテ常ニ道路ノ管理維持ニ注意セシメ特ニ道路ヲ其ノ目的以外ノ爲ニ占用セントスル場合ニ於ケル取締ニ遺憾ナカラシメ若シ不當ニ道路ヲ占用セルモノアルトキハ之ニ對シ強制力ヲ以テ相當ノ措置ヲ爲シ得ルコトトシ周到ナル道路警察ト相俟チテ道路交通ノ保護ニ十分ノ力ヲ致サントス

五 尙道路改良ノ具體的計劃ニ關シテハ國道幹線ノ改良ニ關シ計劃決定ノ上帝國議會ニ其豫算ヲ要求セルモノノ外別ニ官制ヲ以テ道路會議ヲ設ケテ道路ニ關スル重要事項ヲ調査審議スルノ機關ト爲シ其ノ決定ヲ俟テ相當之カ實施ノ計劃ヲ立ツルコトトシ更ニ府縣道以下道路ノ改良ニ關シテハ中央官廳ハ地方長官ヲ督勵シテ之ニ關スル計劃ヲ確立セシメ中央ト地方ト相俟

チテ道路改良ノ目的ヲ達成センコトヲ期シツツアリ

六 道路法施行ニ伴フ事務

道路法ノ制定實施ニ伴ヒ施設スヘキ事項極メテ多シ惟フニ道路法ハ其ノ規定スル所一面廣ク舊來ノ慣行ヲ斟酌シテ弊害ノ存セサル限リ現狀ヲ維持スルニ力メタリト雖モ一面道路ノ管理ヲ確實ナラシメ道路費用負擔所屬區分ヲ明確ナラシメ道路監督ノ基礎ヲ確立セシメンコトヲ期シタルカ故ニ法ノ運用ニ際シ是等ノ目的ヲ達成スルハ即チ道路法制定ノ效果ヲ全ウスル所以ナリトスサレハ中央官廳及地方官廳ニ於テモ之カ施行ニ關シテハ豫メ十分ノ計劃ヲ定メ準備ヲ爲シ以テ機宜ノ措置ヲ過ラサランコトヲ要ス

一 道路法施行ニ伴フ内務省ノ事務

(イ) 國道路線ノ認定及其ノ準備 國道ノ路線ハ大體ニ於テ現狀ヲ基礎トシテ之カ認定ヲ爲スヘシトスルモ豫メ相當ノ調査ヲ爲シ案ヲ具シテ道路會議ノ議ニ附シ慎重審議ヲ盡サシムルノ必要アルヘク又主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル路線ノ認定ニ付テハ道路會議ノ議ニ附スルニ先チ軍事當局者ト相當協議ヲ遂クルノ必要アルヘシ

(ロ) 國道改修計劃ノ確立 國道ノ改修ハ國家財政ノ狀況ニ應シ適當ナル計劃ヲ立ツルノ必要アルハ固ヨリ論ヲ俟タス而シテ國道改修計劃ノ基礎ト爲ルヘキ道路調査ノ如キモ部局ニ詳密ナランヨリハ寧ロ國道全線ヲ概觀スルノ方法ヲ執リ其ノ調査ノ結果ヲ基礎トシテ一日モ早ク國道全線ニ對シ其ノ概略ノ改修計劃ヲ立ツルノ必要アルカ故ニ道路ノ調査ハ一層其ノ規模ヲ擴張シ其ノ方法ヲ改良シ以テ全國々道路線ノ全般ニ亘ルノ調査ヲ速成シ具體的ニ國道改修計劃ノ樹立ニ資スルノ必要アリトス

(ハ) 道路法附屬法令ノ制定 道路法施行ニ伴ヒ勅令省令訓令等必要ナル附屬法令ヲ制定シ以テ

道路法ノ運用ヲ適切ナラシムルノ必要アルハ云フヲ俟タス

(ニ) 府縣道整理ノ勵行 現在ノ假定縣道及府縣費支辨里道ハ道路法ノ施行ニ伴ヒ一度其ノ資格ヲ失ヒ更ニ道路法ニ依リテ認定ヲ爲シ初メテ府縣道タルノ資格ヲ得ルモノトス而シテ各府縣ニ於ケル道路整理ノ問題ハ多年ノ懸案ニシテ二三府縣ニ於テハ今日ニ於テモ既ニ其ノ解決ヲ告ケタルモノアリト雖モ他ノ多クノ府縣ニ於テハ道路政策ノ根本的確立ハ之ヲ道路法制定ノ後ニ讓レルモノ多キカ故ニ是等ノ府縣ハ道路法ノ制定ヲ俟テ一齋ニ其ノ道路ノ整理ニ著手シ認可ヲ內務省ニ求メ來ルヘキヲ以テ之ニ對シ適當ナル調査ヲ行ヒ其ノ可否ヲ決定スルハ全國各府縣ヲ通シテ道路政策ノ大綱ヲ立ツルニ極メテ緊要ノ事業ニシテ又重大ノ事務タリトス然ルニ內務省ニ於ケル現在ノ取扱ニ徵スルニ一府縣二三百里ノ道路整理案ヲ調査決定スルニモ相當ノ日子ヲ要シ又屢々實地ノ調査ヲ爲スノ必要アルカ爲更ニ多クノ日子ヲ要スヘキ場合少ナカラサルニ全國ノ假定縣道約七千六百里府縣費支辨里道約二千四百里合計約一萬里ノ道路ニ付統一的ニ之カ整理案ノ決定ヲ行フハ蓋シ容易ノ事ニアラサルヘキモ局ニ在ル者ハ一段ノ奮勵ヲ以テ事ニ當リ其ノ終局ノ目的ヲ達スルニ努メントス

(ホ) 第十七條但書ノ市ノ指定 道路法ニ於テハ既ニ述ヘタルカ如ク國道及府縣道ハ府縣知事ノ管理ニ屬スルヲ原則トスレトモ特ニ勅令ヲ以テ指定スル大都市ニ在リテハ市長ヲ以テ其ノ管理者ト爲スコトヲ得ヘキカ故ニ其ノ指定ヲ爲スニ際シテハ能ク其ノ府縣及其ノ市ニ付キテ交通財政其ノ他ノ情況ヲモ調査スルノ必要アルヘク之ニ關シテハ豫メ相當調査ノ方針ヲ定メ其ノ方法ヲ考究スルノ必要アリトス

(ヘ) 道路會議ノ設置 明治四十二三年ノ頃道路ニ關スル事項ヲ調査審議スルカ爲內務省内ニ道路協議會ヲ置キ關係各省ノ次官及省内關係高等官ヲ委員トシテ數回ノ會合ヲ催シタルコトア

ルモ別ニ官制ノ存セシニハアラス思フニ道路ハ軍事上産業上行政上其ノ關係スル所極メテ廣汎ナルヲ以テ道路法ノ施行並ニ道路ノ改良計劃ニ關スル事項ニ付テハ廣ク官民ヨリ成ル會議ヲ設ケ之ヲシテ其ノ調査審議ヲ爲サシムルハ其ノ實施上ニ於テ極メテ必要ナル事項ナルヲ以テ勅令ヲ以テ道路會議ニ關スル官制ヲ設ケ之ヲ有力ナル議員組織トスルコト鐵道會議ノ如クナラシメ之ニ依リテ道路ニ關スル各方面ノ希望要求及其ノ意見ノ統一調和ヲ期シ以テ道路改良ニ資セシムル所アラントス

(ト) 國費支辨若クハ國費補助道路ノ調査監督 國道ノ新築改築ニ國費ヲ支辨シ若クハ之ヲ補助スル場合ニ於テハ其ノ路線ノ選擇ヲ慎ミ其ノ設計ノ調査ヲ嚴密ニシ其ノ工事ノ監督ヲ周到ニシ而シテ之カ竣工ノ後ニ於テハ其ノ管理維持ニ關シ十分ナル監督ヲ行ハサルヘカラス然ルニ從來ニ於ケル國費補助道路ハ其ノ竣工後ニ於テハ一ニ府縣ノ管理維持ニ信賴シテ之カ監督ヲ爲ササルカ爲往々ニシテ年次ヲ經ルニ從ヒ其ノ維持ヲ怠リ爲ニ交通上ニ缺陷ヲ來タセルモノナキニシモアラサルカ如キハ將來大ニ考慮ヲ要スヘキコトナリトス

(チ) 道路法説明書ノ公表 道路法ハ規定ノ簡明ヲ期シタルカ爲其ノ運用ヲ爲スニ方リテハ動モスレハ其ノ眞意ヲ捉ヘ難キノ恐アルヲ以テ局ニ當ル者ヲシテ能ク立法ノ趣旨ヲ了解セシムルノ必要アルヲ以テ道路法ノ説明書ヲ作製シ關係當局者ニ之ヲ配布セントス

(リ) 道路法運用ニ關スル打合會 道路法立法ノ趣旨ヲ關係當局者ニ徹底セシムルト共ニ其ノ適用實施ニ關スル事項ヲ協議スルカ爲府縣當局者ヲ内務省ニ召集シ以テ其ノ施行方針ヲ統一セントス

(ヌ) 道路補助費ニ關スル負擔ノ調査 道路法ノ制定ハ一ニ道路ノ管理ヲ統一シ費用負擔ノ所屬區分ヲ明瞭ナラシムルニアルヲ以テ上級公共團體カ各種ノ道路ニ補助費ヲ濫出シテ其ノ費用

負擔ノ所屬區分ヲ亂ルコト仍從來ノ如クハ道路法制定ノ趣旨ニ反スルヲ以テ道路費補助ニ關シテハ豫メ其ノ方針ヲ決定シ置カントス

二 道路法施行ニ伴フ府縣廳ノ事務

(イ) 府縣道ノ整理實行 府縣ニ於ケル現在ノ假定縣道及府縣費支辨里道ハ其ノ編入及指定ヲ爲シテヨリ時ヲ經ルコト久シキモノ少ナカラスシテ鐵道軌道等ノ運輸機關ノ普及ト地方產業ノ發達トニ依リ之カ整理ヲ必要トスルモノ頗フル多キニ關ハラ道路法規ノ制定ヲ俟ツカ爲其ノ整理ヲ等閑ニ付シ不必要ナル道路ヲ存置シテ必要ナル道路ヲ設ケス爲ニ動モスレハ府縣郡等ニ於ケル道路改良ノ目的ヲ阻礙シツツアルノ實況ナルカ故ニ道路法ノ制定ト同時ニ府縣交通ノ現狀ニ鑑ミ新ニ府縣費支辨道路ノ整理ヲ斷行シ必要ナル道路ヲ設ケテ不必要ナル道路ヲ廢シ以テ道路改良ノ爲相當ノ計劃ヲ爲スノ必要アリトス

(ロ) 郡市町村道路整理ノ認可處分 現在ノ里道ハ道路法ニ依リ主トシテ郡道市道町村道ニ認定セララルヘキモノニシテ郡道及市道ノ路線認定ハ府縣知事ノ認可ヲ得ヘキモノナルカ故ニ其ノ整理案ニ付テハ之カ調査ヲ慎重ニシ以テ其ノ許否ヲ決定スヘキナリ

(ハ) 賃取橋及賃取渡船場ノ整理 賃取橋及賃取渡船場ハ極メテ古キ時代ヨリ之ヲ設置セルモノト明治四年布告ニ依リ認可ヲ得テ設置セルモノトアルモ何レモ道路法ノ施行ニ依リ一旦其ノ效力ヲ失ハシメ其ノ整理ヲ斷行シ管理者ノ經營スヘキモノハ管理者之ヲ經營シ私人又ハ公共團體ヲシテ經營セシムヘキモノハ私人又ハ公共團體ヲシテ之ヲ經營セシメ以テ道路交通ノ改善ヲ企圖セサルヘカラス而シテ之カ整理ニ伴ヒ賃取橋及賃取渡船場ニ關スル各種ノ權利義務ノ歸着ヲ定メサルヘカラスルカ故ニ相當慎重ナル調査ヲ爲スノ必要アリトス尙將來ニ於テハ道路法ニ依ル渡船場ト警察許可ニ依ル渡船營業トノ關係ニツキ亦相當考慮ヲ爲スノ必要アリ

トス

(ニ) 其ノ他ノ許可承認事項ノ整理 道路ニ關シ管理者ノ許可承認ヲ得タル事項ハ其ノ數極メテ多ク之カ爲道路本來ノ效用ヲ阻礙セルモノ少ナカラス故ニ之ニ關シテハ十分ノ調査ヲ遂ケ認ムヘキハ之ヲ認メ認ムヘカラサルハ之ヲ消滅セシメテ機宜ノ措置ニ出ツルコトヲ要ス

(ホ) 道路臺帳ノ調製 道路臺帳ノ調製ハ道路法ニ依リ命セラレタル事項ニシテ府縣モ亦此ノ臺帳ヲ調製セサルヘカラス

(ヘ) 道路法ノ説明書配布ト其ノ運用ニ關スル打合會 內務省ハ道路法ノ運用ニ資センカ爲不日其ノ説明書ヲ發表シ各府縣ノ主任者ヲ召集シテ打合會ヲ開催セントスルコト既ニ述ヘタルカ如クナルカ府縣ニ於テモ郡市町村ノ當局ニ對シ之ト同様ノ方法ヲ講シ一般ニ道路法ノ精神ヲ徹底セシメ之カ運用ニ遺憾ナカラシメンコトヲ期セサルヘカラス

此ノ如ク道路法ノ施行ニ伴ヒ內務省及地方廳ニ於テ臨機處理スヘク幾多事務ノ増加ヲ來スモ國務多端ノ今日俄ニ現在ノ組織ヲ擴張スルコト極メテ困難ノ事情アルカ故ニ現在ノ組織ヲ以テ所期ノ事業ヲ遂行スルカ爲ニハ只管一層ノ努力ヲ以テ之ニ當ルノ覺悟ナカルヘカラス (完)